

NISAで オールカントリー・S&P500は 買わない!?! 集中投資が魅せる 神の見えざる手



セミナー資料

2024年2月

iFreeNEXT FANG+インデックス

追加型投信/海外/株式/インデックス型

※お申込みの際は必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。※出演者の個人的見解であり、大和アセットマネジメントの見解を示すものではありません。

NISAの現状は低コスト・分散至上主義
となっており「資産を増やす」という
本来の目的が置き去りになっている

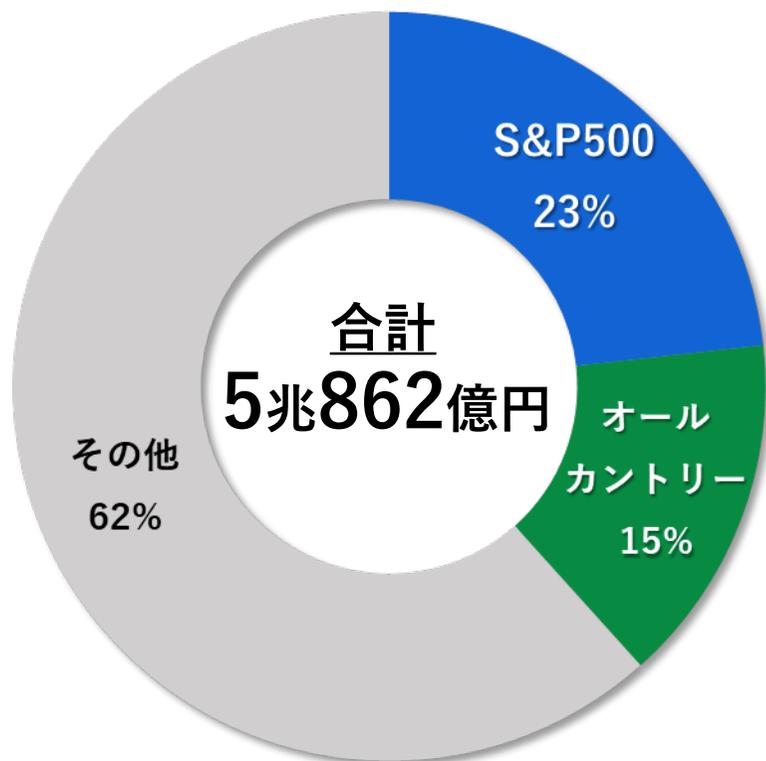
NISAの現状は低コスト・分散至上主義
となっており 「資産を増やす」という
本来の目的が置き去りになっている

それでいいんですか？

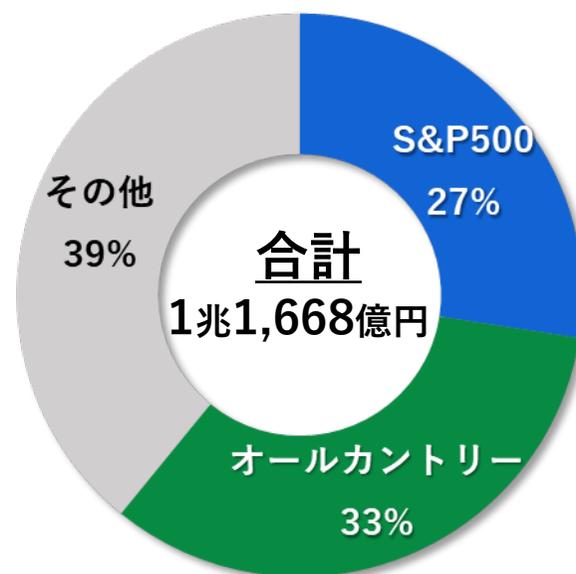
S&P500、オールカントリーを中心に資金が流入

公募投資信託のS&P500、オールカントリーの純流入シェア

【2023年】



【2024年1月】



※DC専用、ETF、SMA専用、マネー含むマネープール、ラップ専用、財形給付ファンド除く国内公募投資信託が対象

※S&P500はS&P500指数や類似指数との連動を目指すインデックス型、オールカントリーはMSCI ACWI指数に連動を目指すインデックス型

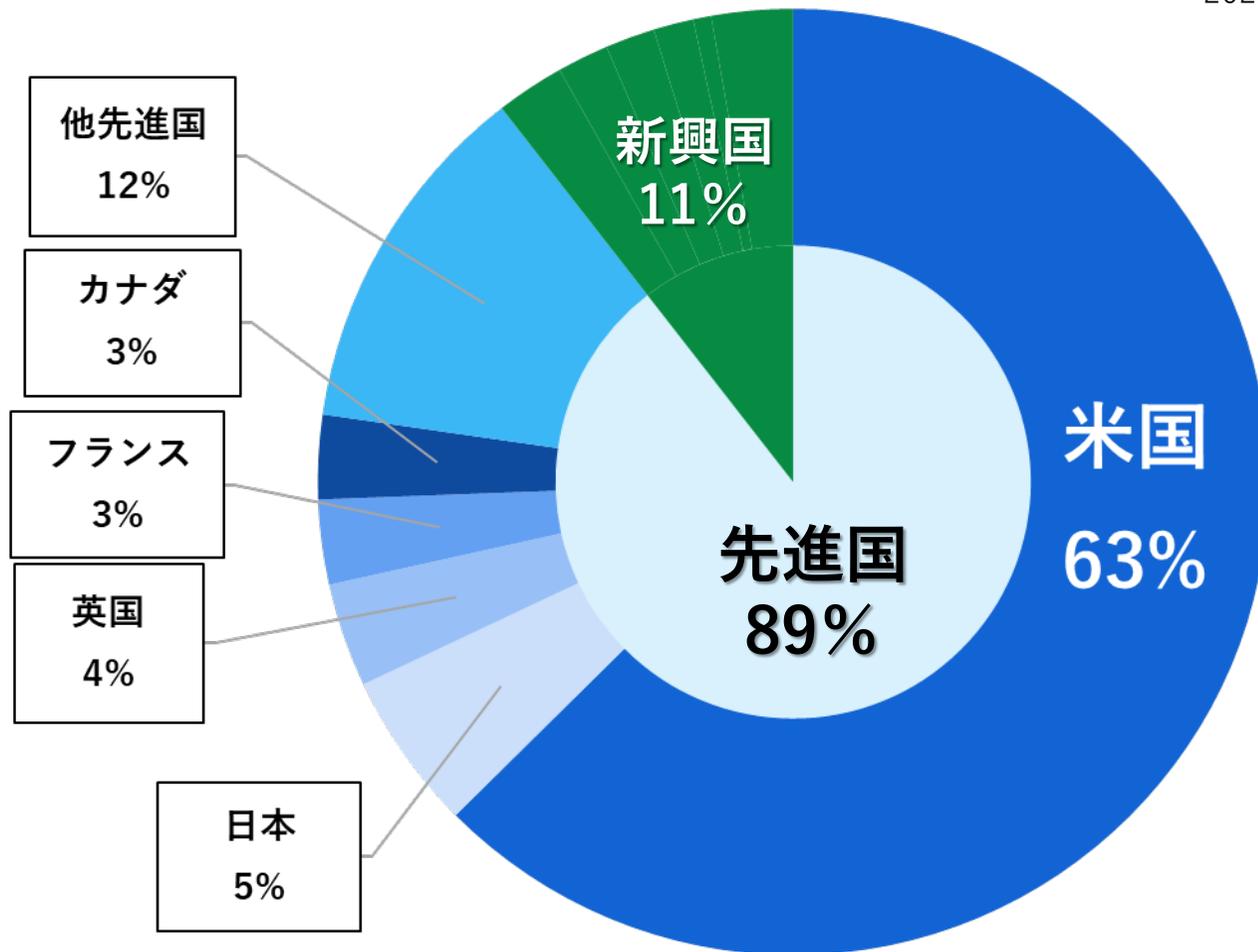
(出所) QUICKデータベースより大和アセットマネジメント作成

オールカントリーを
分解してみる

オールカントリーの多くは米国

オールカントリーの国別構成比率

2023年12月末時点



(出所) 各種データより大和アセットマネジメント作成

米国が世界を牽引

直近30年間のパフォーマンス比較

1994年1月末から2024年1月末



※1 シャープレシオは年率リターン/年率リスクで算出
※米国、全世界、先進国(除く米国)、新興国はMSCI指数を使用
※米ドルベース、配当込み ※1994年1月末を100として指数化

(出所) ブルームバーグより大和アセットマネジメント作成

米国が世界を牽引

直近30年間のパフォーマンス比較

1994年1月末から2024年1月末



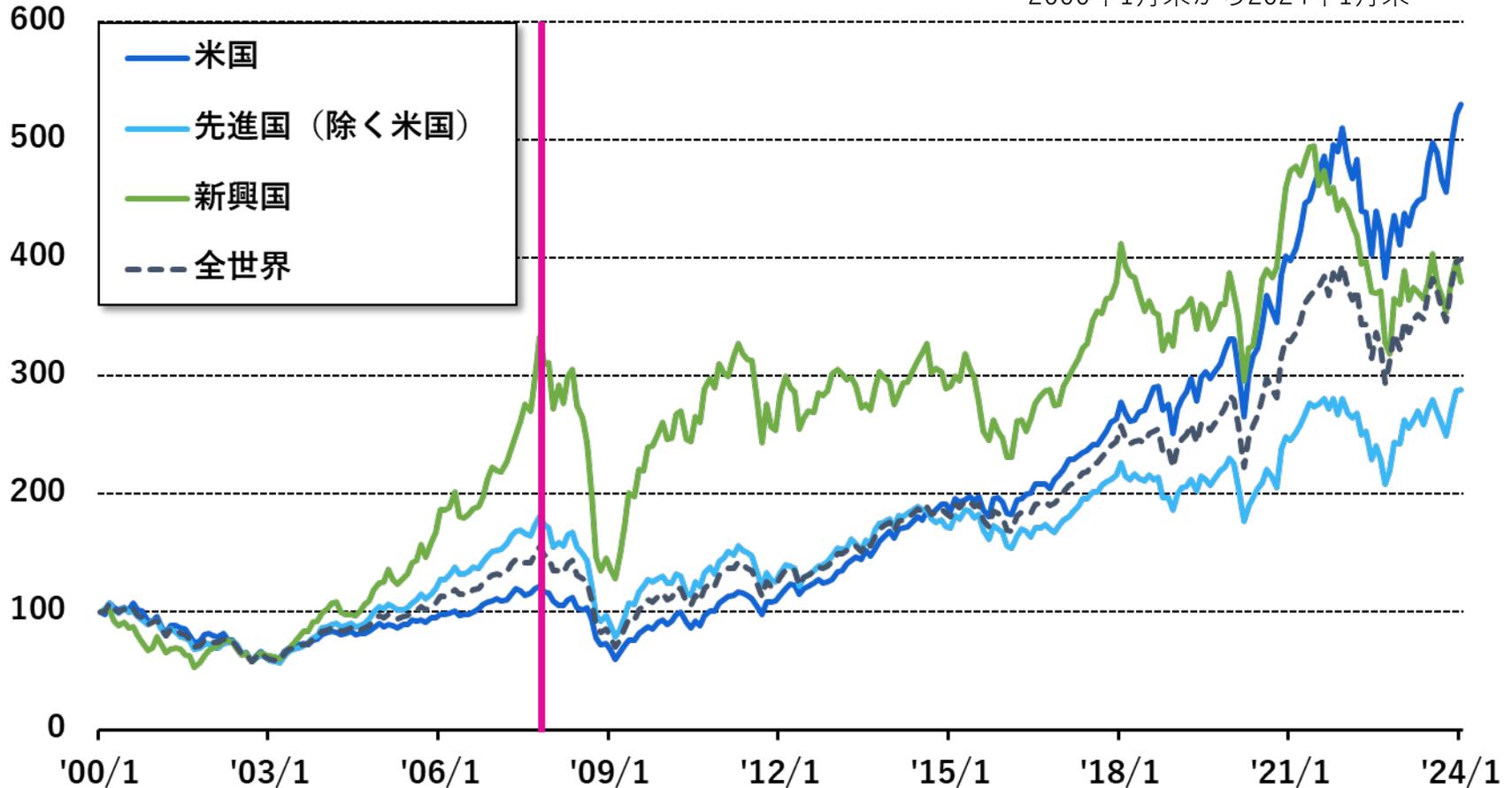
※1 シャープレシオは年率リターン/年率リスクで算出
※米国、全世界、先進国(除く米国)、新興国はMSCI指数を使用
※米ドルベース、配当込み ※1994年1月末を100として指数化

(出所) ブルームバーグより大和アセットマネジメント作成

2000年代のBRICS台頭

2000年代からのパフォーマンス比較

2000年1月末から2024年1月末



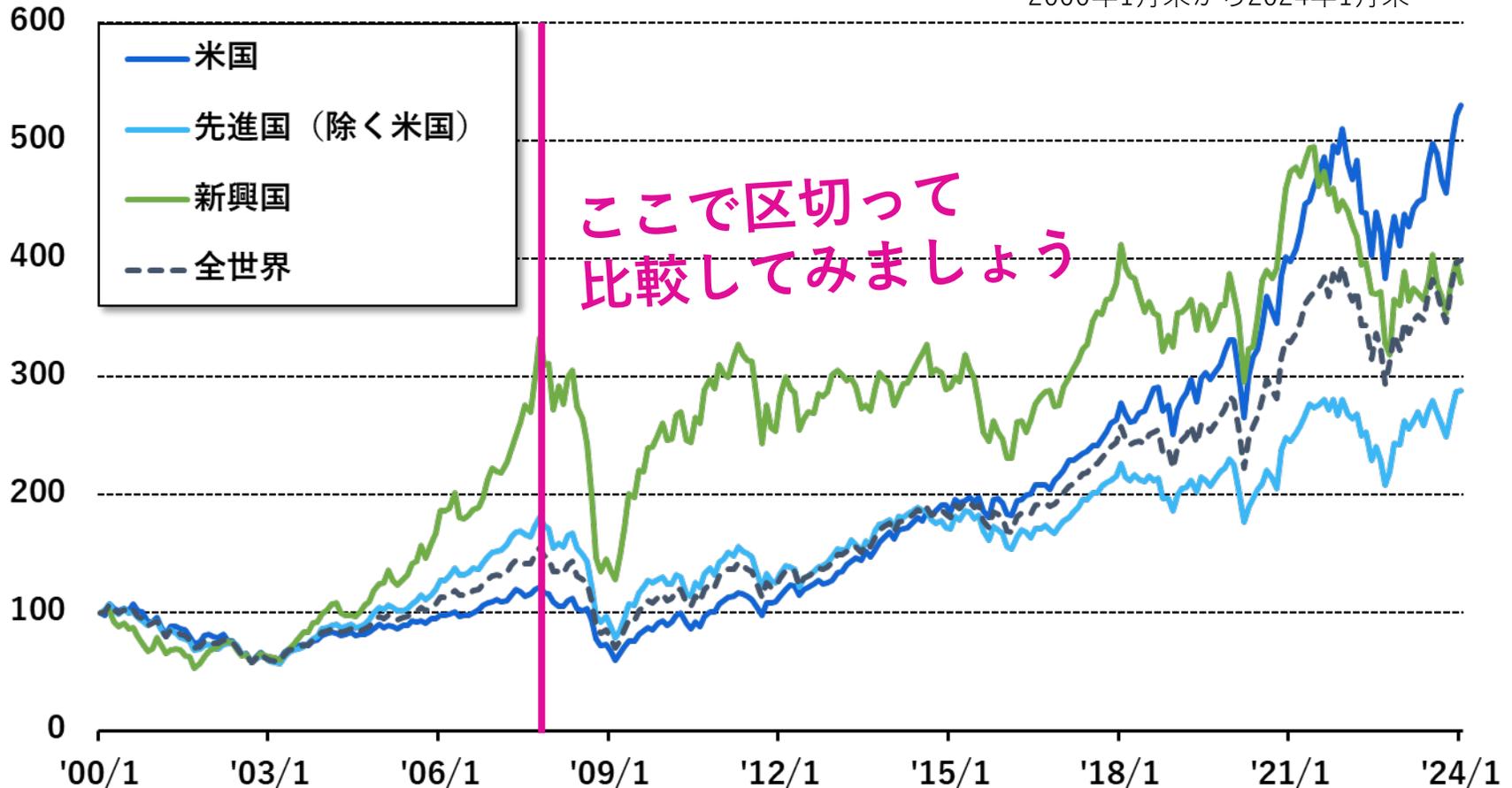
※米国、全世界、先進国 (除く米国)、新興国はMSCI指数を使用
※米ドルベース、配当込み ※2000年1月末を100として指数化

(出所) ブルームバーグより大和アセットマネジメント作成

2000年代のBRICS台頭

2000年代からのパフォーマンス比較

2000年1月末から2024年1月末

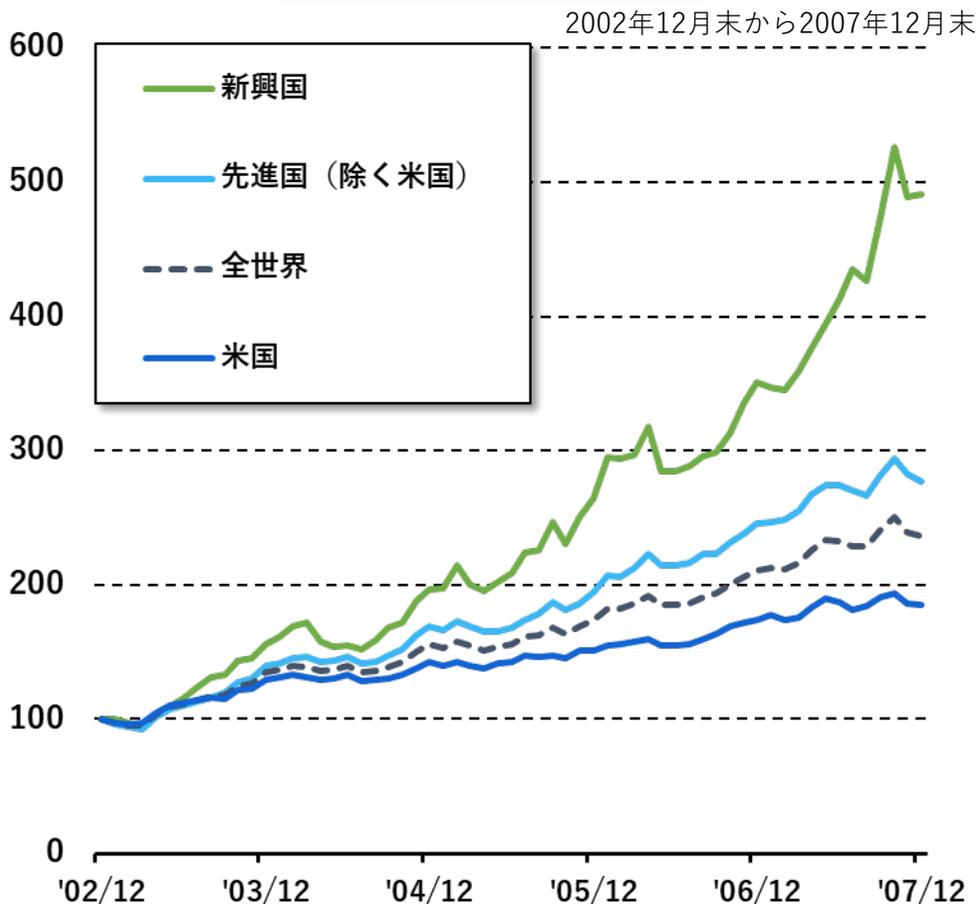


※米国、全世界、先進国 (除く米国)、新興国はMSCI指数を使用
※米ドルベース、配当込み ※2000年1月末を100として指数化

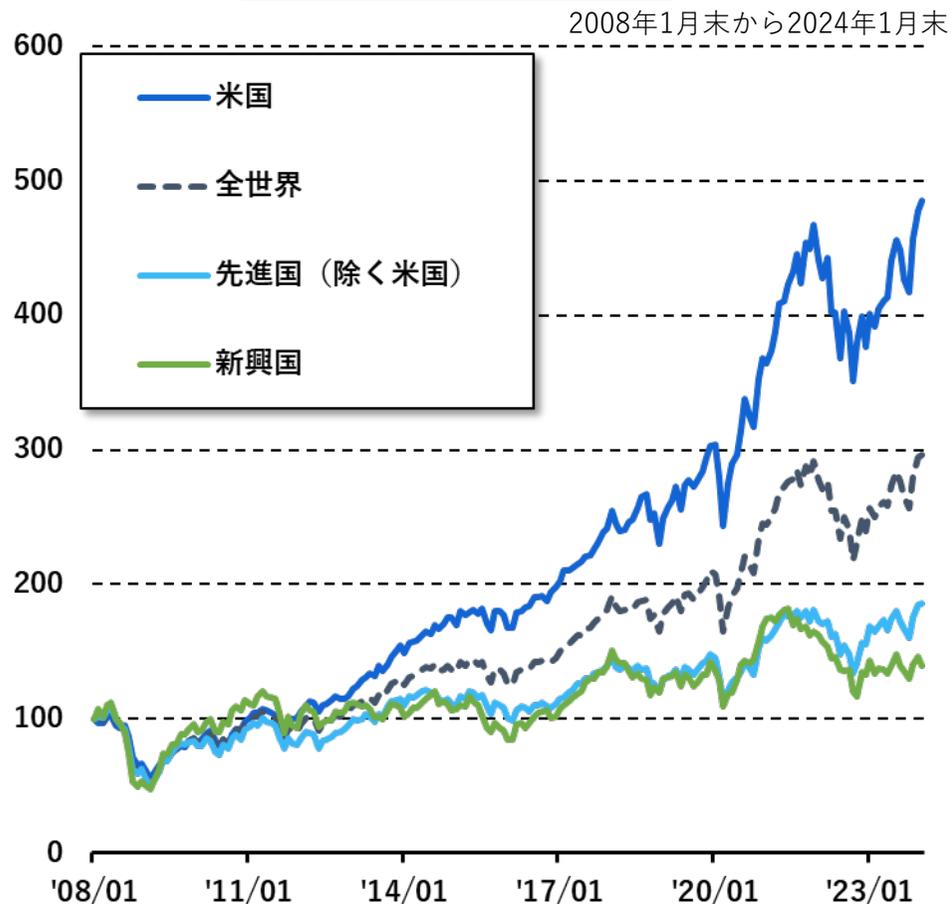
(出所) ブルームバーグより大和アセットマネジメント作成

新興国の台頭はブーム？

2000年初期



2008年から現在まで

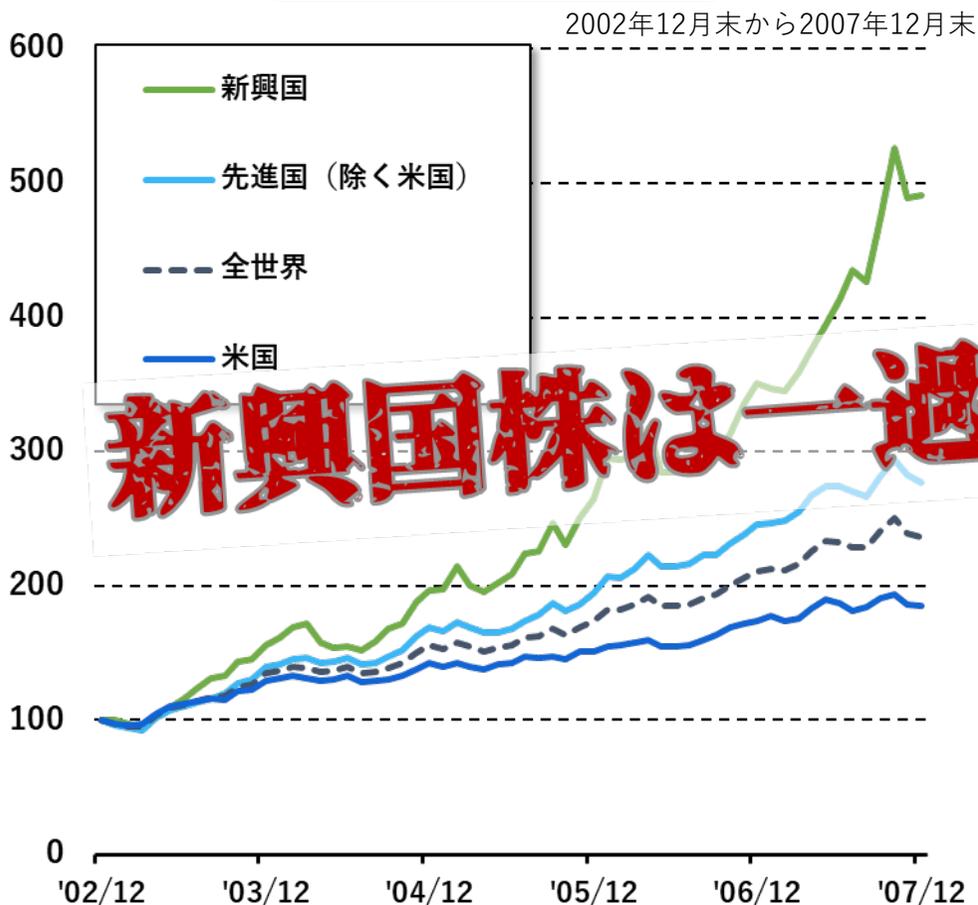


※米国、全世界、先進国 (除く米国)、新興国はMSCI指数を使用
※米ドルベース、配当込み ※左グラフは2002年12月末、右グラフは2008年1月末を100として指数化

(出所) ブルームバーグより大和アセットマネジメント作成

新興国の台頭はブーム？

2000年初期



2008年から現在まで



新興国株は一過性のブーム！？

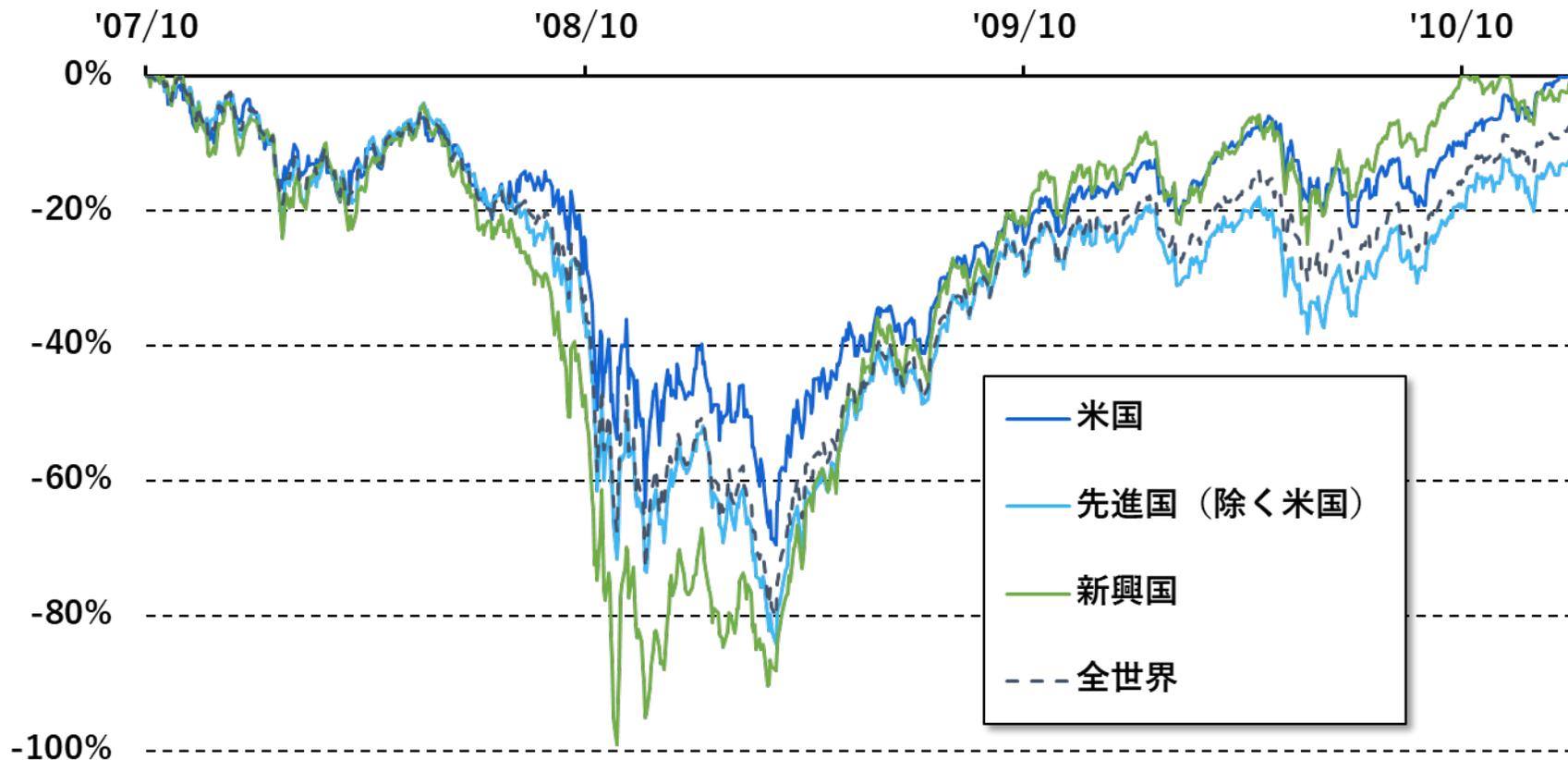
※米国、全世界、先進国 (除く米国)、新興国はMSCI指数を使用
※米ドルベース、配当込み ※左グラフは2002年12月末、右グラフは2008年1月末を100として指数化

(出所) ブルームバーグより大和アセットマネジメント作成

リーマンショック時の下落率

各指数ドローダウン※1の推移

2007年10月末から2010年12月末



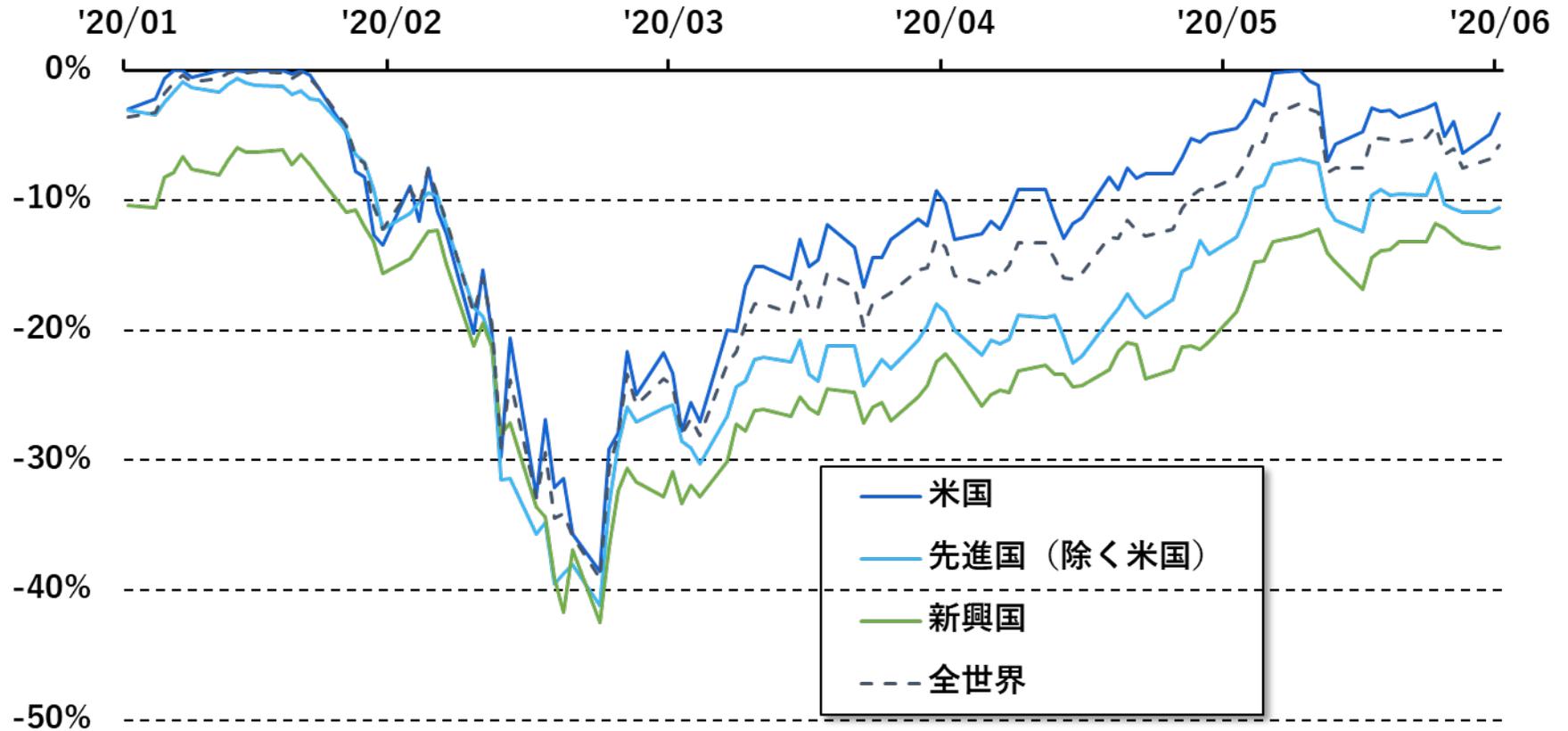
※1 投資家が保有する資産の最大資産からの下落率
※米国、全世界、先進国（除く米国）、新興国はMSCI指数を使用
※米ドルベース、配当込み

(出所) ブルームバーグより大和アセットマネジメント作成

コロナショック時の下落率

各指数ドローダウン※1の推移

2020年1月末から2020年6月末



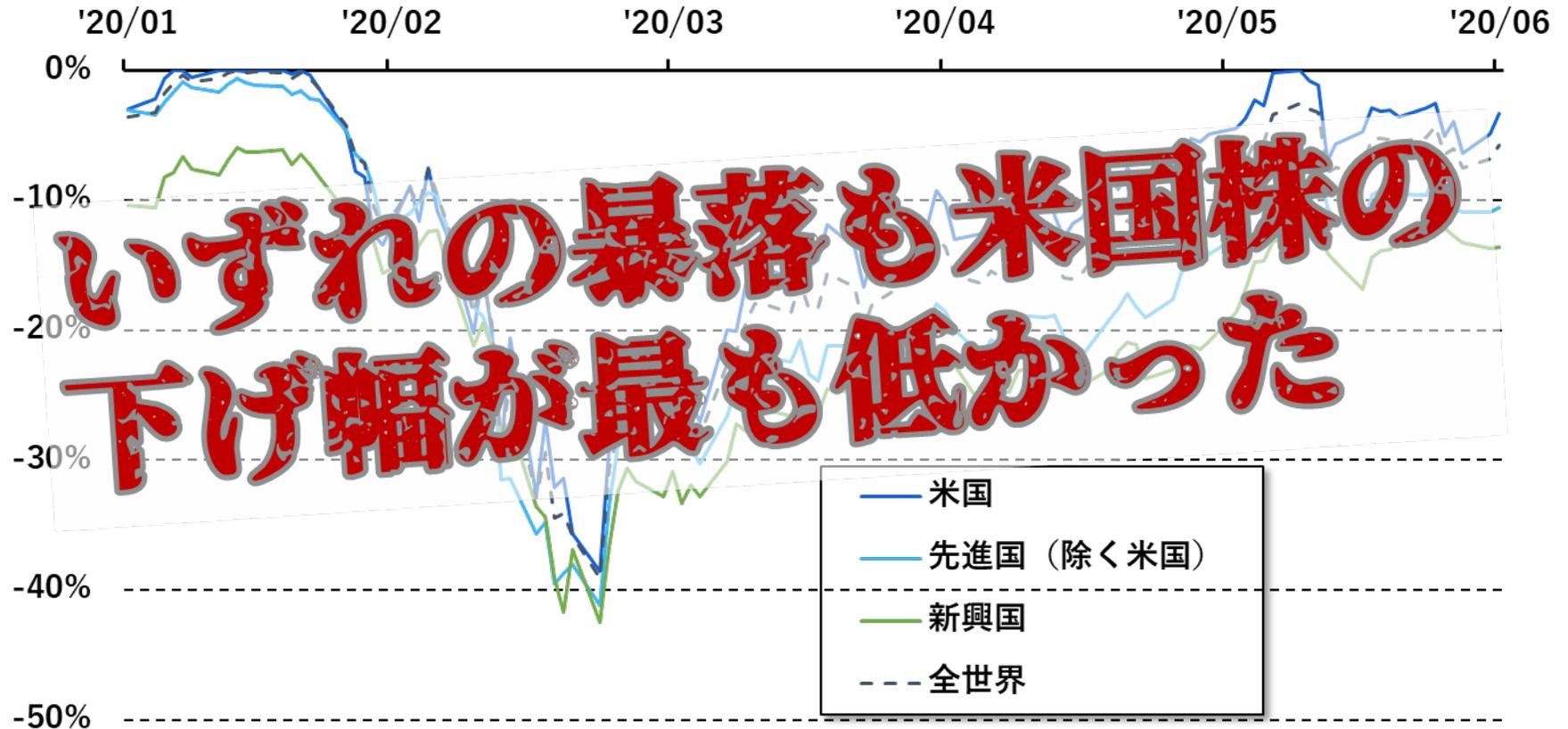
※1 投資家が保有する資産の最大資産からの下落率
※米国、全世界、先進国（除く米国）、新興国はMSCI指数を使用
※米ドルベース、配当込み

(出所) ブルームバーグより大和アセットマネジメント作成

コロナショック時の下落率

各指数ドローダウン※1の推移

2020年1月末から2020年6月末



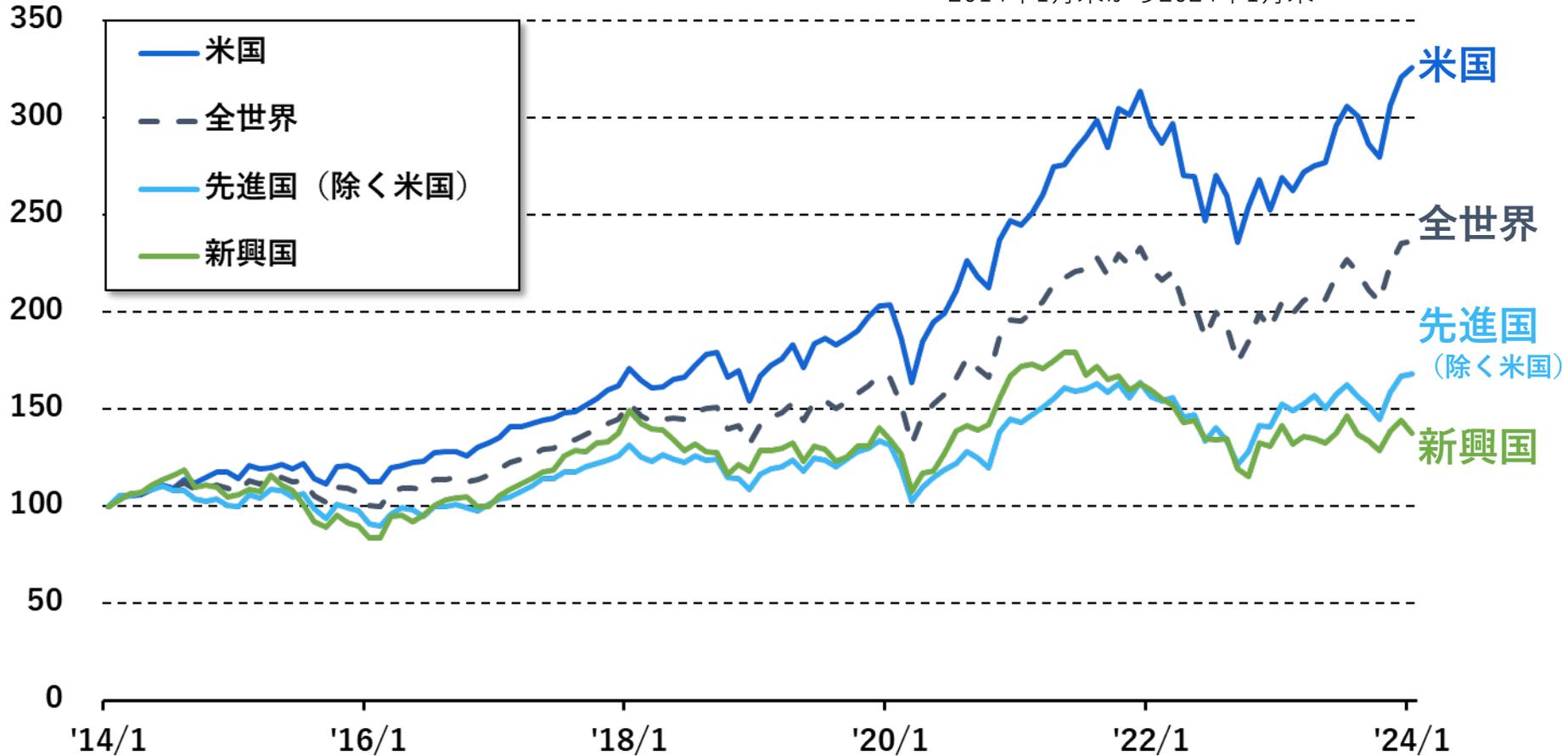
※1 投資家が保有する資産の最大資産からの下落率
※米国、全世界、先進国 (除く米国)、新興国はMSCI指数を使用
※米ドルベース、配当込み

(出所) ブルームバーグより大和アセットマネジメント作成

ここ10年も米国が世界を牽引

直近10年間のパフォーマンス比較

2014年1月末から2024年1月末



※米国、全世界、先進国 (除く米国)、新興国はMSCI指数を使用
※米ドルベース、配当込み ※2014年1月末を100として指数化

(出所) ブルームバーグより大和アセットマネジメント作成

S&P500を
分解してみる

2023年のS&P500

S&P500の推移

2022年12月末から2023年12月末



利上げ政策の継続
リセッション懸念
シリコンバレーバンク破綻
ウクライナ紛争の長期化
イスラエル・ハマス紛争



S&P500が25%も
上昇したのは何故か？

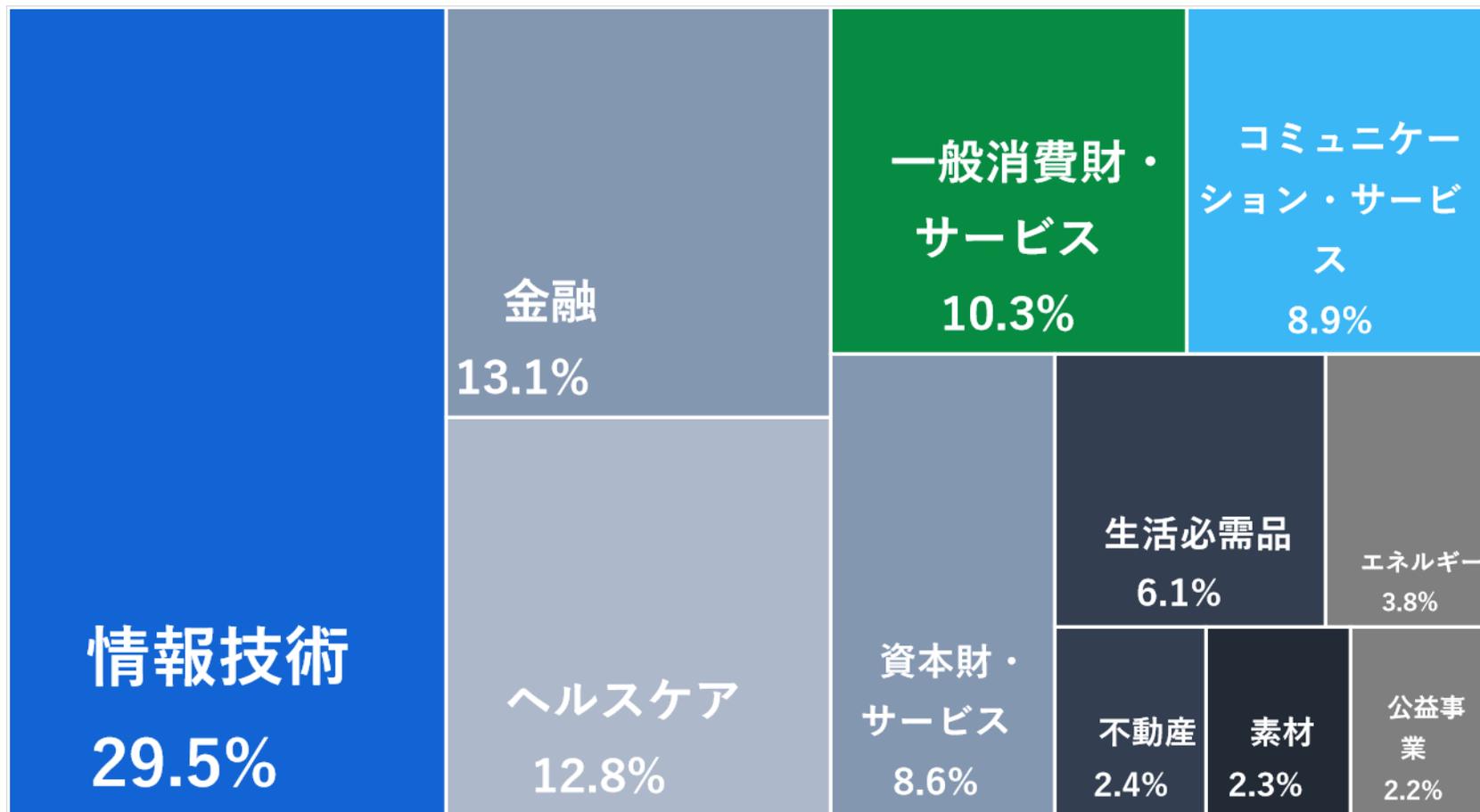


生成AIが脚光を浴び
関連するであろう銘柄が
恐ろしく成長したから

(出所) ブルームバーグより大和アセットマネジメント作成

生成AIと関連の強いセクターは？

S&P500のセクター別比率

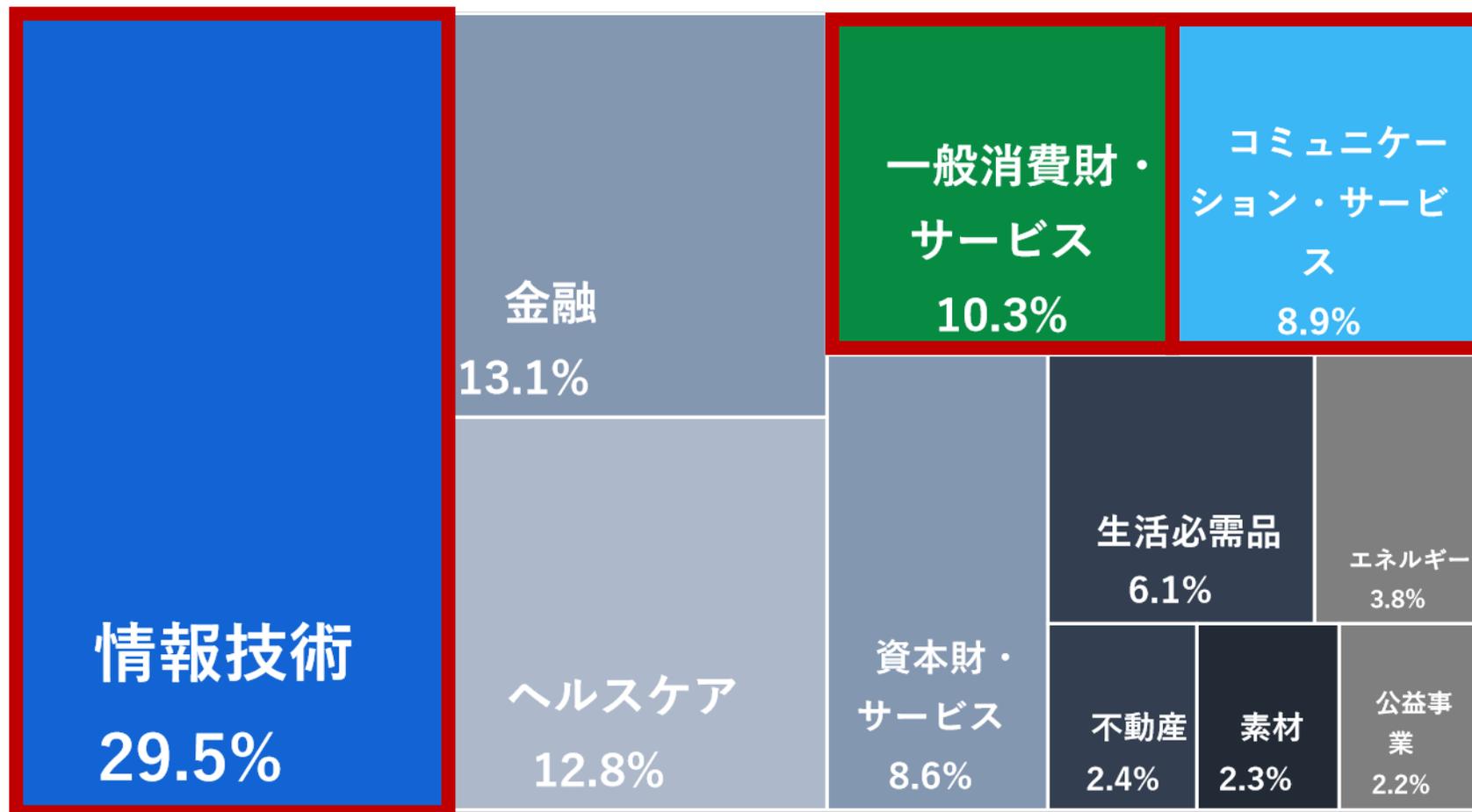


※各セクターはS&P500セクター別指数を使用

(出所) ブルームバーグより大和アセットマネジメント作成

生成AIと関連の強いセクターは？

S&P500のセクター別比率



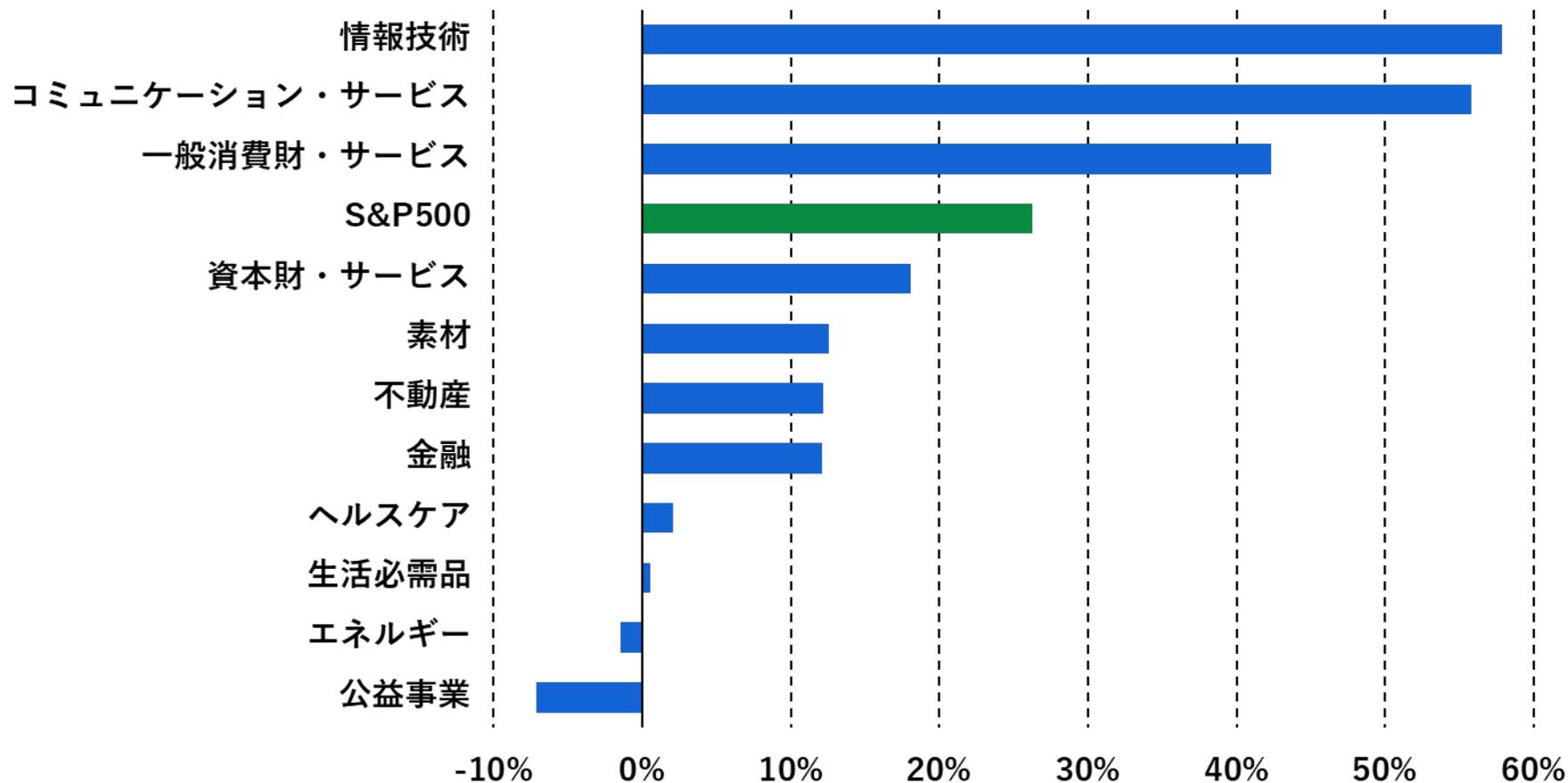
※各セクターはS&P500セクター別指数を使用

(出所) ブルームバーグより大和アセットマネジメント作成

上位3セクターがS&P500をアウトパフォーム

2023年のS&P500セクター別騰落率

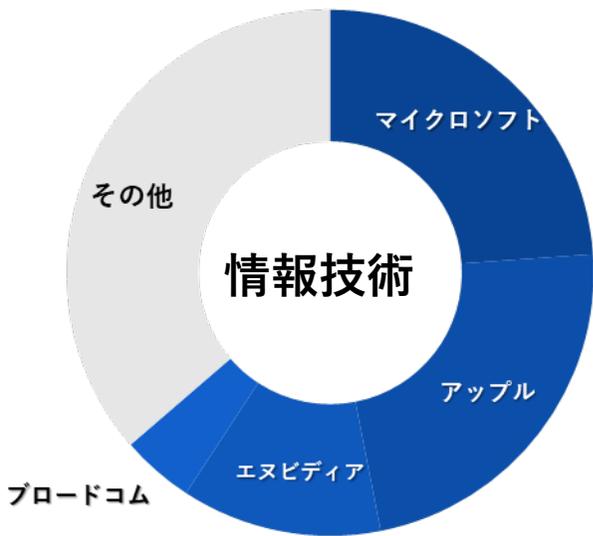
2022年12月末から2023年12月末



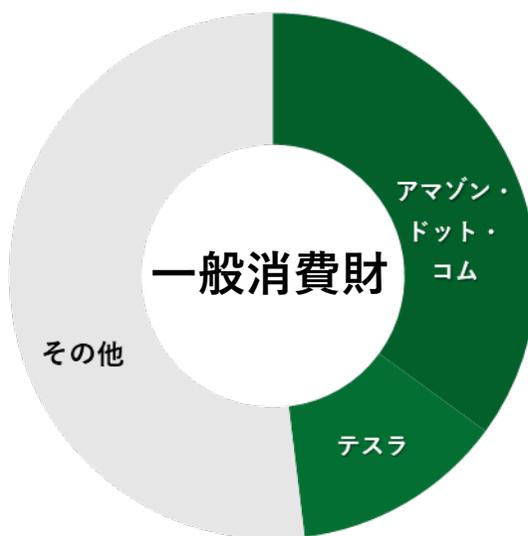
※各セクターはS&P500セクター別指数を使用
※配当込み、米ドルベース

(出所) ブルームバーグより大和アセットマネジメント作成

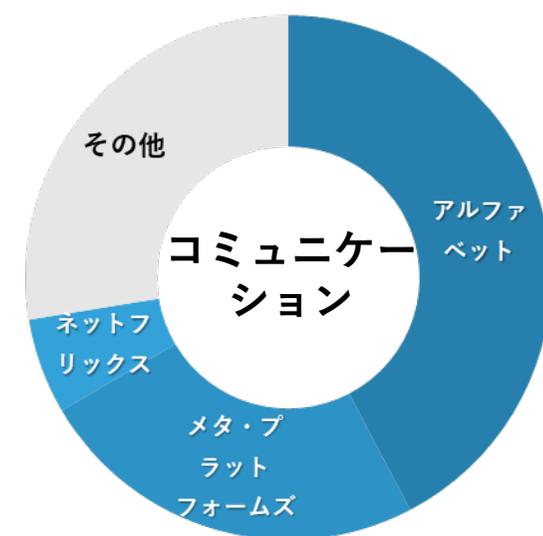
S&P500各セクターの上位銘柄



組入銘柄	比率
マイクロソフト	23.9%
アップル	23.0%
エヌビディア	12.3%
ブロードコム	4.5%
オラクル	2.5%
アドビ	2.3%
セールスフォース	2.2%
その他	29.4%



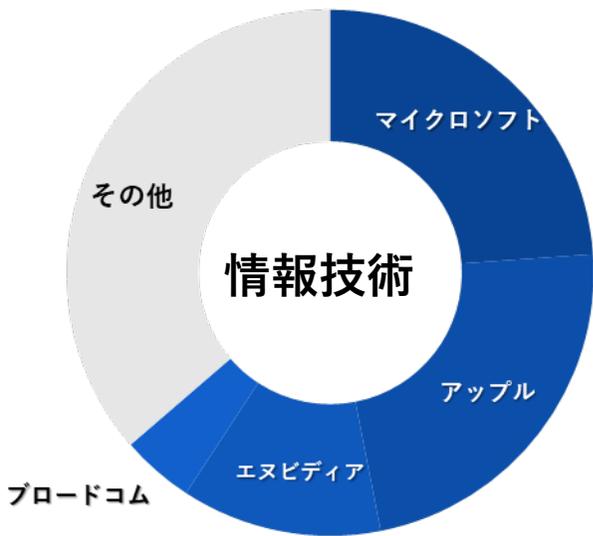
組入銘柄	比率
アマゾン	35.0%
テスラ	13.0%
ホーム・デポ	7.7%
マクドナルド	4.6%
ナイキ	3.4%
ロウズ	2.7%
ブッキング・ホールディングス	2.7%
その他	30.9%



組入銘柄	比率
アルファベット	42.3%
メタ	24.2%
ネットフリックス	5.9%
TモバイルUS	4.7%
コムキャスト	4.5%
ベライゾン・コミュニケーションズ	4.3%
ウォルト・ディズニー・カンパニー	4.2%
その他	9.9%

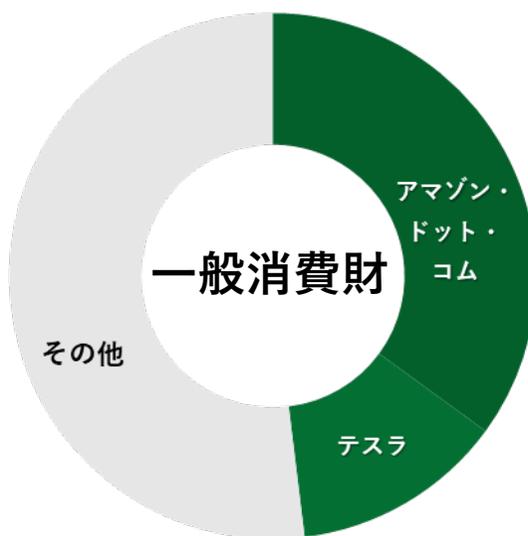
※各セクターはS&P500セクター別指数を使用
 ※各セクターの銘柄比率は2024年1月末時点の時価総額を使用して算出
 (出所) ブルームバーグより大和アセットマネジメント作成

S&P500各セクターの上位銘柄



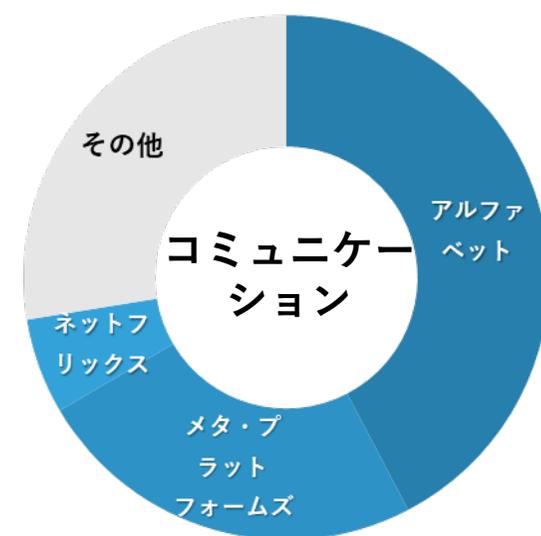
組入銘柄	比率
マイクロソフト	23.9%
アップル	23.0%
エヌビディア	12.3%
ブロードコム	4.5%
オラクル	2.5%
アドビ	2.3%
セールスフォース	2.2%
その他	29.4%

63.7%



組入銘柄	比率
アマゾン	35.0%
テスラ	13.0%
ホーム・デポ	7.7%
マクドナルド	4.6%
ウォルマート	3.4%
スターバックス	2.7%
ブッキング・ホールディングス	2.7%
その他	30.9%

48%



組入銘柄	比率
アルファベット	42.3%
メタ	24.2%
ネットフリックス	5.9%
TモバイルUS	4.7%
コムキャスト	4.5%
ベライゾン・コミュニケーションズ	3.3%
ウォール・ストリート・グループ	4.2%
その他	9.9%

72.4%

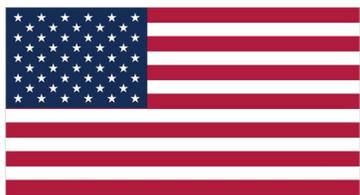
※各セクターはS&P500セクター別指数を使用
 ※各セクターの銘柄比率は2024年1月末時点の時価総額を使用して算出

(出所) ブルームバーグより大和アセットマネジメント作成

世界経済を
牽引しているのは

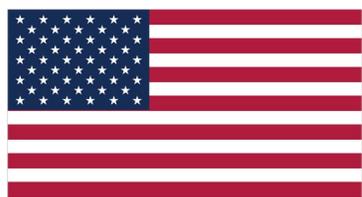
Magnificent 7

※以下、Magnificent7はAlphabet(Google)、Amazon、Apple、Meta(Facebook)、Microsoft、Tesla、Nvidiaの7社を指します。



全世界株式の中でも
米国株
そして米国株の中でも
一部の銘柄だけ
が市場を強力に
牽引していることは
明らかである

情報技術	一般消費財	コミュニケーションサービス
マイクロソフト	アマゾン	アルファベット
アップル	テスラ	メタ
エヌビディア		Netflix
ブロードコム		



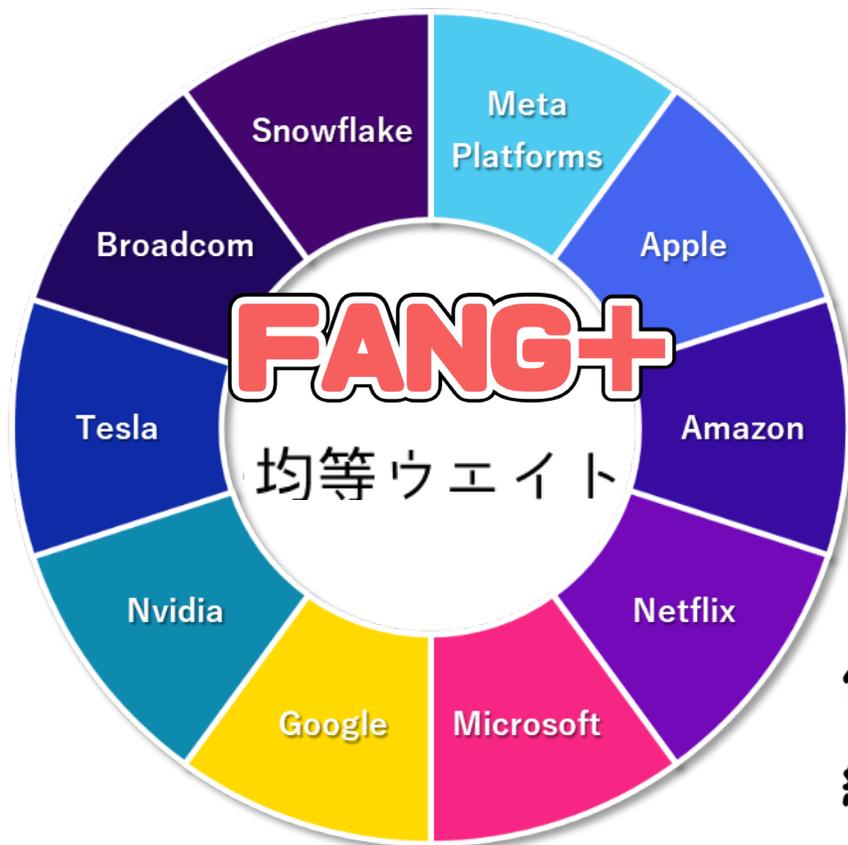
FANG+
インデックス



全世界株式の中でも
米国株
そして米国株の中でも
一部の銘柄だけ
が市場を強力に
牽引していることは
明らかである

その「**一部の銘柄**」に
丸ごと投資できるのが
FANG+インデックス

iFreeNEXT FANG+インデックスとは



ベンチマーク: NYSE FANG+インデックス(指数)

1. 米国のビックテックを中心とした次世代テクノロジー企業10銘柄に均等加重平均で投資する
2. FAANMGと呼ばれる旧FacebookのMETA Apple、Amazon、Netflix、Microsoft Googleの6社は原則固定
3. 3月、6月、9月、12月にリバランスされ各銘柄が10%の均等ウエイトに調整され指数算出方法に従って必要あれば構成銘柄も変更される
4. 2024年2月現在の構成銘柄はFAANMG6社に加えてNVIDIA、Tesla、Broadcom、Snowflakeの10社

信託報酬 : 年率**0.7755%(税込)**

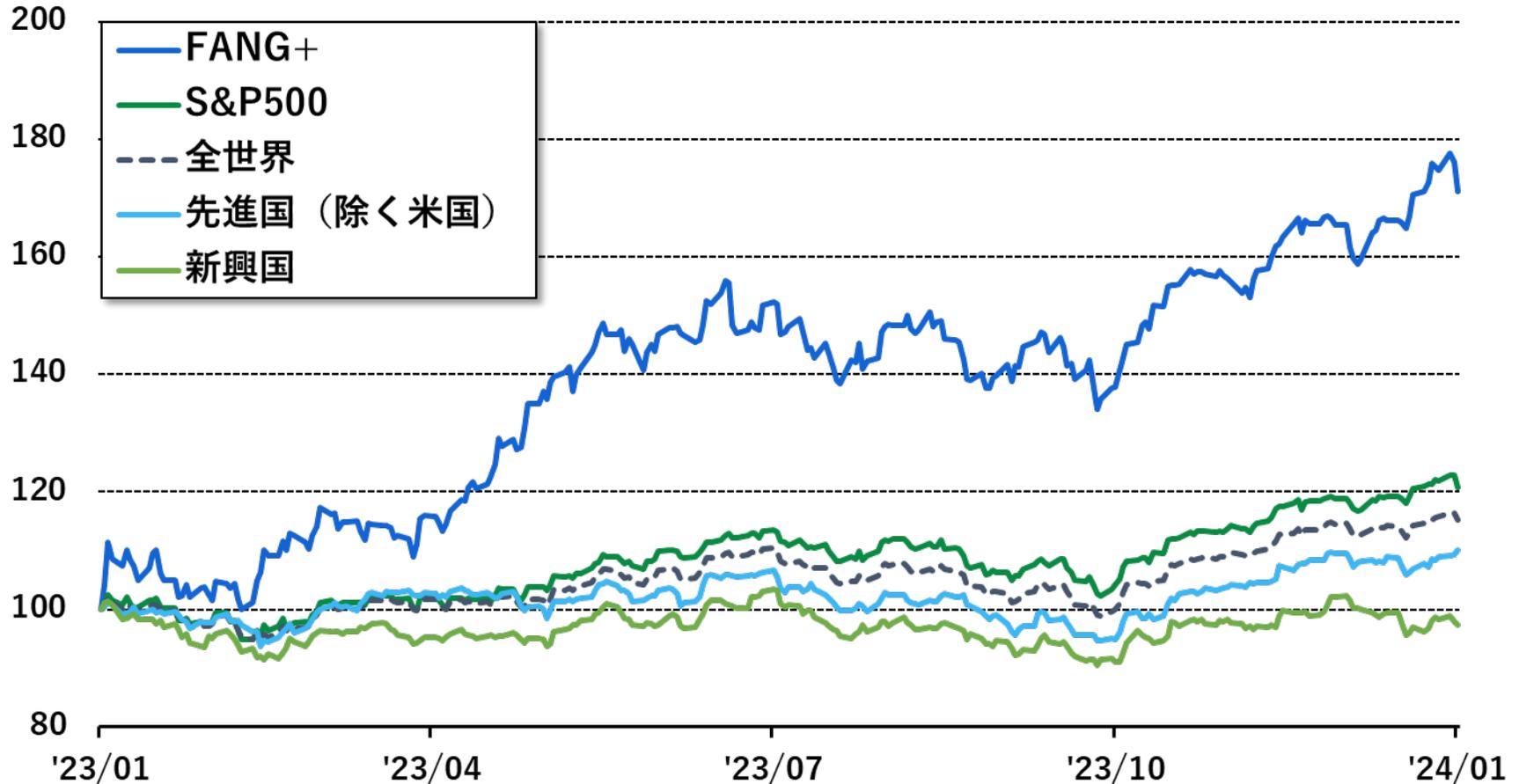
純資産総額: **1095.04億円**(2024年2月16日時点)

償還日 : **無期限**

全世界を牽引するFANG+

直近1年間のパフォーマンス比較

2023年1月末から2024年1月末



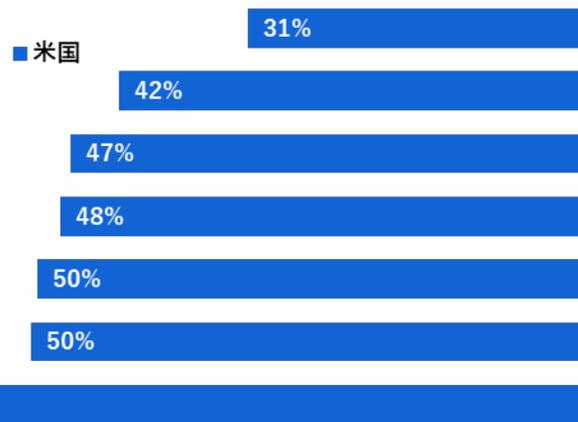
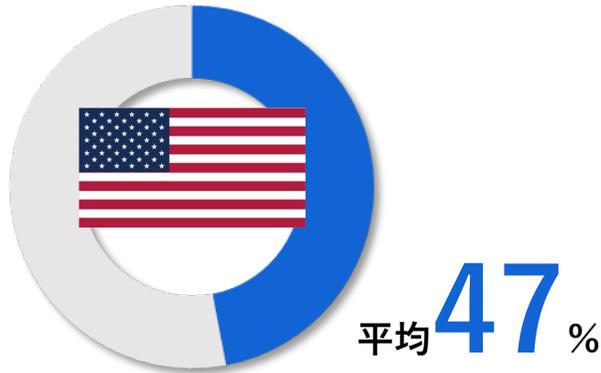
※全世界、先進国 (除く米国)、新興国はMSCI指数を使用
※米ドルベース、配当込み ※2023年1月末を100として指数化

(出所) ブルームバーグより大和アセットマネジメント作成

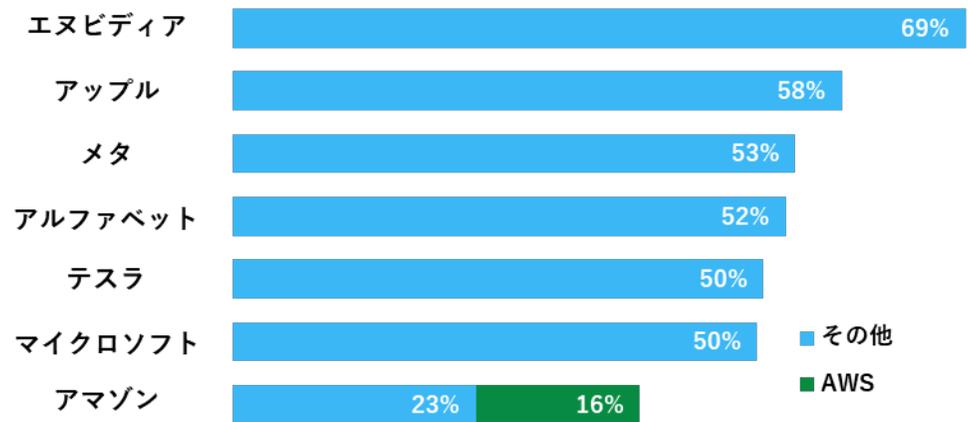
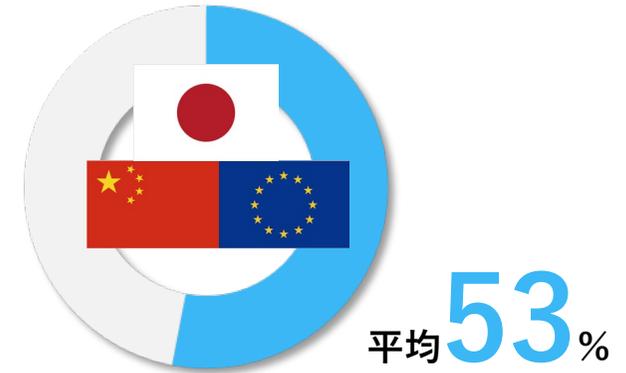
FANG+のような
集中投資は危険？

Magnificent7の海外売上比率

米国※1での売上比率



その他の売上比率



※1 アマゾンは北米、メタは米国とカナダ、アップルは南北アメリカを含む割合
 ※グーグル、アマゾン、メタ、テスラは2022年12月末、マイクロソフトは2023年6月末、アップルは2023年9月末、
 エヌビディアは2023年1月末から直近12か月のデータを使用

(出所) ブルームバーグより大和アセットマネジメント作成

Magnificent7



生成AI関連技術

情報技術

一般消費財

不動産

資本財

公益

先進国

コミュニケー
ションサービ
ス

金融

ヘルスケア

エネルギー

素材

新興国

Magnificent7

生成AI関連技術

情報技術

一般消費財

不動産

資本財

公益

先進国

コミュニケーションサービス

金融

ヘルスケア

エネルギー

素材

新興国

Magnificent7

神の見えざる手

生成AI関連技術

情報技術

一般消費財

不動産

資本財

公益

先進国

コミュニケーションサービス

金融

ヘルスケア

エネルギー

素材

新興国

マグニフィセント7の
生成AIに関連する技術は
どのセクター、どの地域でも
必須の技術となるのでは？

FANG+への投資は
神の見えざる手によって
結局世界中の成長を
最も効率良く
手にすることになる！？

世界の時価総額ランキングなんて
すぐに入れ替わる？

世界時価総額トップ20一覽

2003年12月末時点

(十億米ドル)

銘柄名	時価総額
ゼネラル・エレクトリック	311
マイクロソフト	295
エクソンモービル	271
ファイザー	269
シティグループ	250
ウォルマート	229
インテル	209
B P	178
アメリカン・インターナショナル・グループ (A I G)	172
H S B Cホールディングス	171
ボーダフォン・グループ	167
シスコシステムズ	167
I B M	159
ジョンソン・エンド・ジョンソン	153
G S K	136
プロクター・アンド・ギャンブル	129
バークシャー・ハサウェイ	129
コカ・コーラ	124
トヨタ自動車	121
トタルエナジーズ	120

2023年12月末時点

(十億米ドル)

銘柄名	時価総額
アップル	2,994
マイクロソフト	2,794
サウジ・アラビアン・オイル	2,133
アルファベット	1,756
アマゾン・ドット・コム	1,570
エヌビディア	1,223
メタ・プラットフォームズ	909
テスラ	789
バークシャー・ハサウェイ	776
イーライリリー	553
ビザ	536
ブロードコム	522
T S M C	502
J Pモルガン・チェース・アンド・カンパニー	491
ユナイテッドヘルス・グループ	486
ノボ・ノルディスク	467
ウォルマート	424
L V M Hモエヘネシー・ルイヴィトン	407
エクソンモービル	400
マスターカード	399

※数値は切り捨てて表示

(出所) ブルームバーグより大和アセットマネジメント作成

世界時価総額トップ20一覽

2003年12月末時点

(十億米ドル)

銘柄名	時価総額
ゼネラル・エレクトリック	311
マイクロソフト	295
エクソンモービル	271
ファイザー	269
シティグループ	250
ウォルマート	229
インテル	209
B P	178
アメリカン・インターナショナル・グループ (A I G)	172
H S B Cホールディングス	171
ボーダフォン・グループ	167
シスコシステムズ	167
ジョンソン・エンド・ジョンソン	153
G S K	136
アスター・アセット	129
バークシャー・ハサウェイ	129
コカ・コーラ	121
トヨタ自動車	121
トタルエナジーズ	120

マグニフィセント7で入っていたのはマイクロソフトのみ

2023年12月末時点

(十億米ドル)

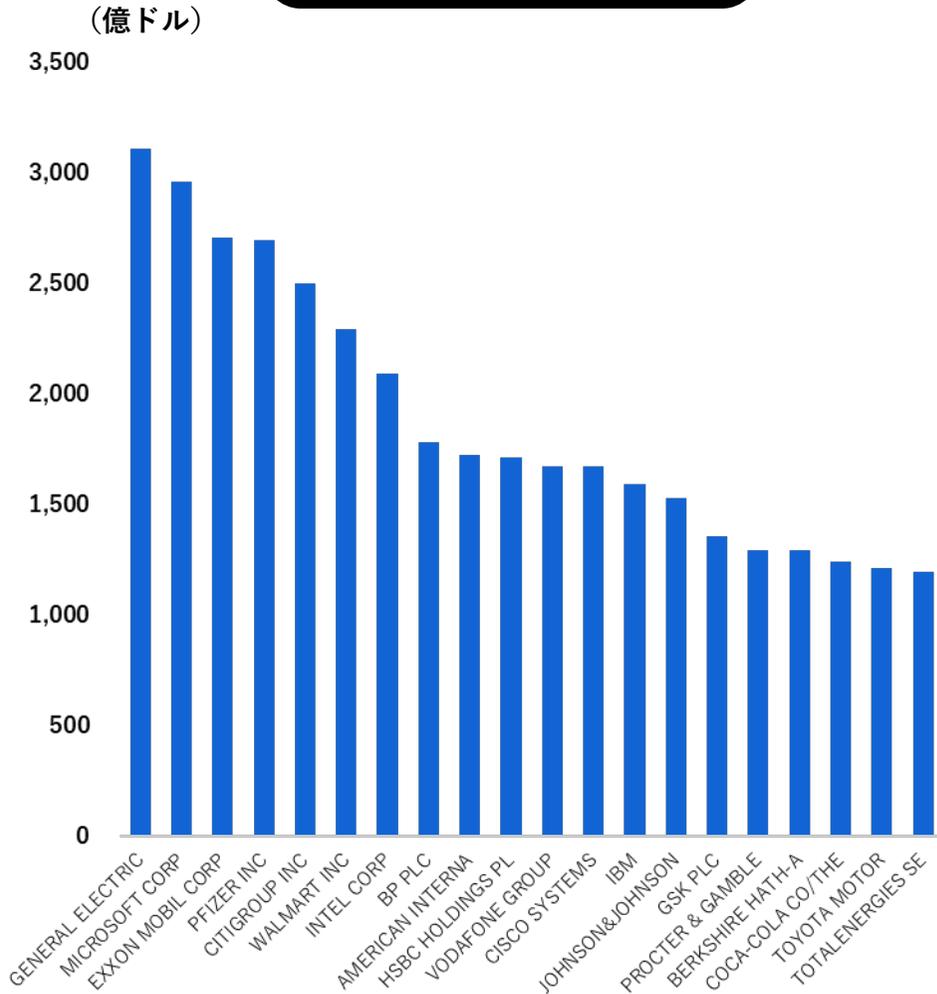
銘柄名	時価総額
アップル	2,994
マイクロソフト	2,794
サウジ・アラビアン・オイル	2,133
アルファベット	1,756
アマゾン・ドット・コム	1,570
エヌビディア	1,223
メタ・プラットフォームズ	909
テスラ	789
バークシャー・ハサウェイ	776
イーライリリー	553
ビザ	536
ブロードコム	522
T S M C	502
J Pモルガン・チェース・アンド・カンパニー	491
ユナイテッドヘルス・グループ	486
ノボ・ノルディスク	467
ウォルマート	424
L V M Hモエヘネシー・ルイヴィトン	407
エクソンモービル	400
マスターカード	399

※数値は切り捨てで表示

(出所) ブルームバーグより大和アセットマネジメント作成

世界時価総額トップ20企業の推移

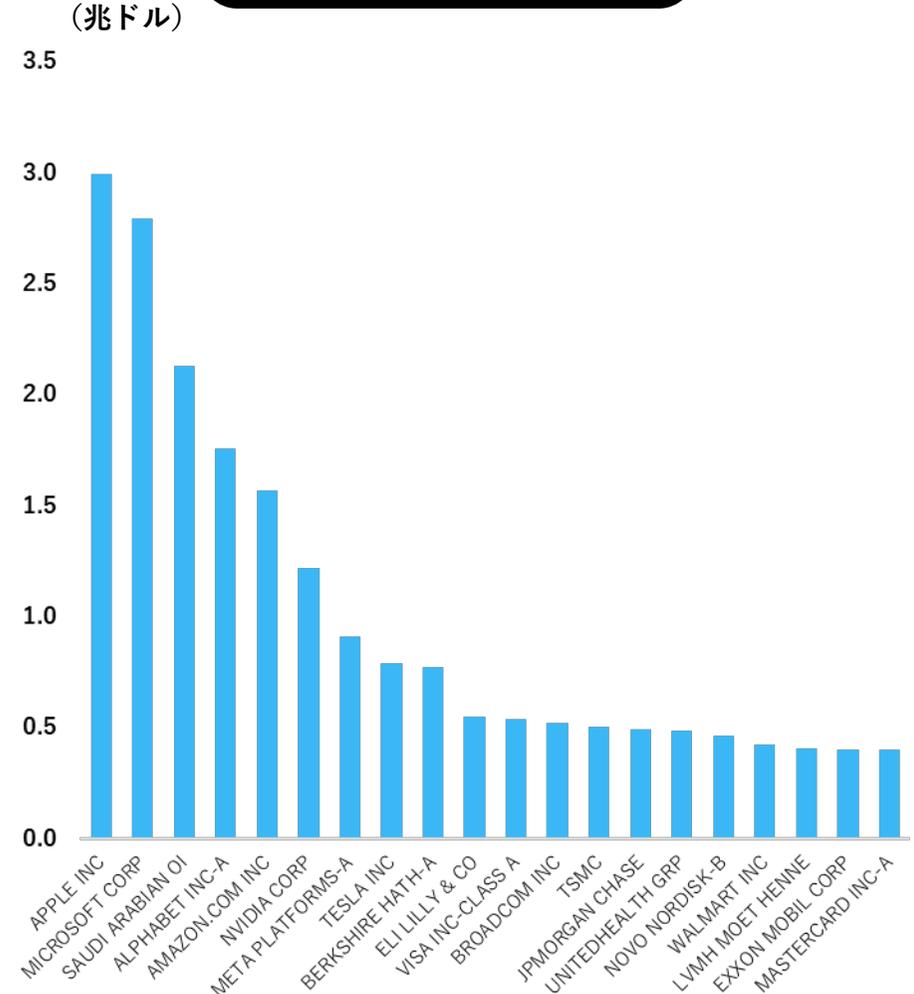
2003年12月末時点



20年後



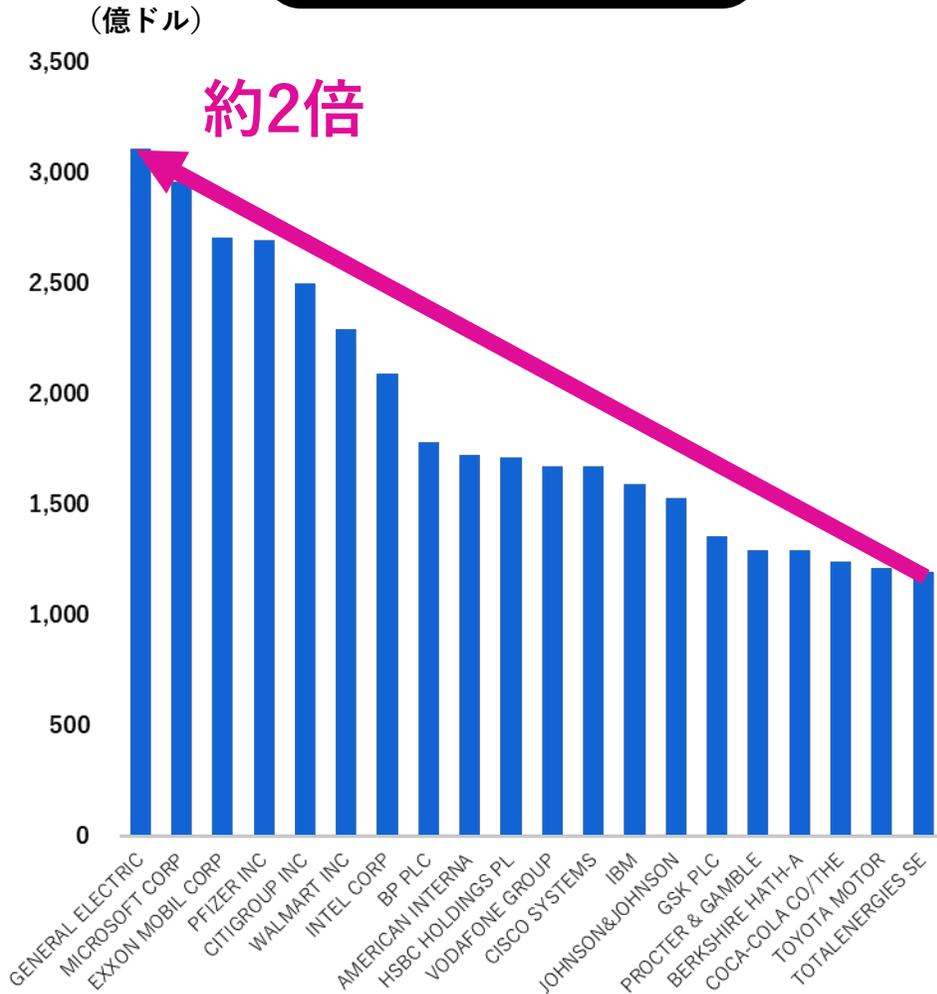
2023年12月末時点



(出所) ブルームバーグより大和アセットマネジメント作成

世界時価総額トップ20企業の推移

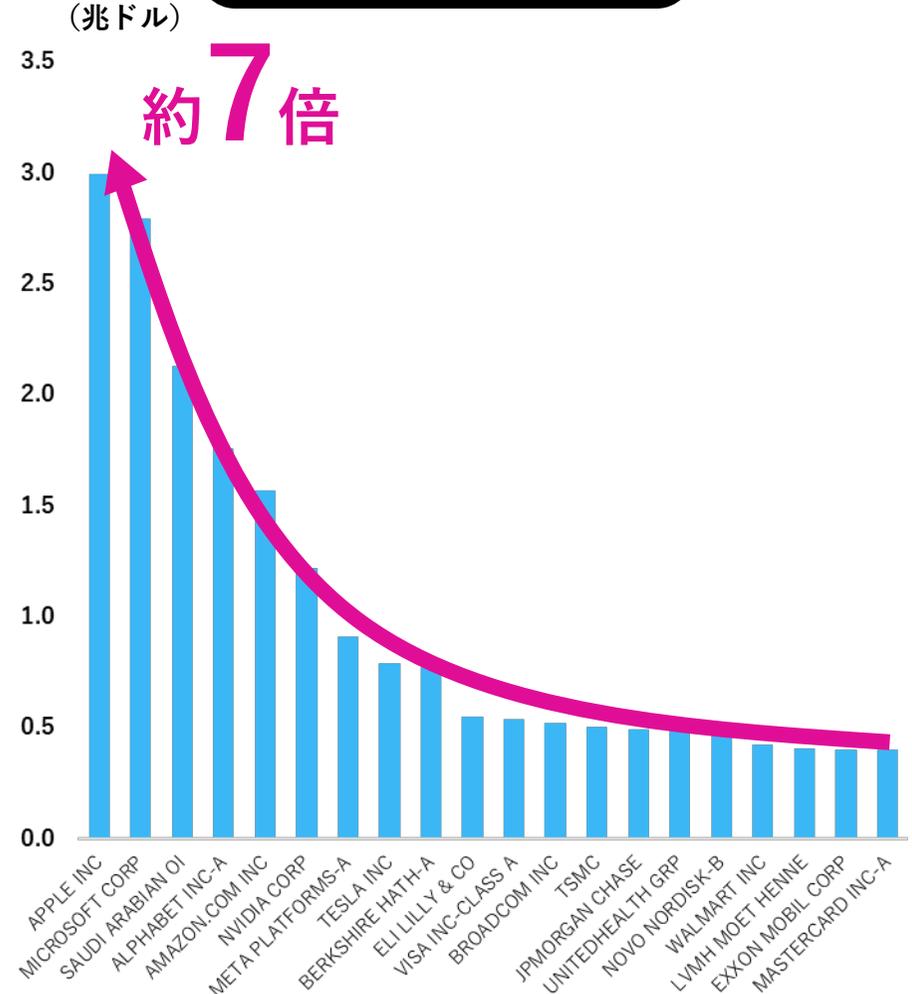
2003年12月末時点



20年後



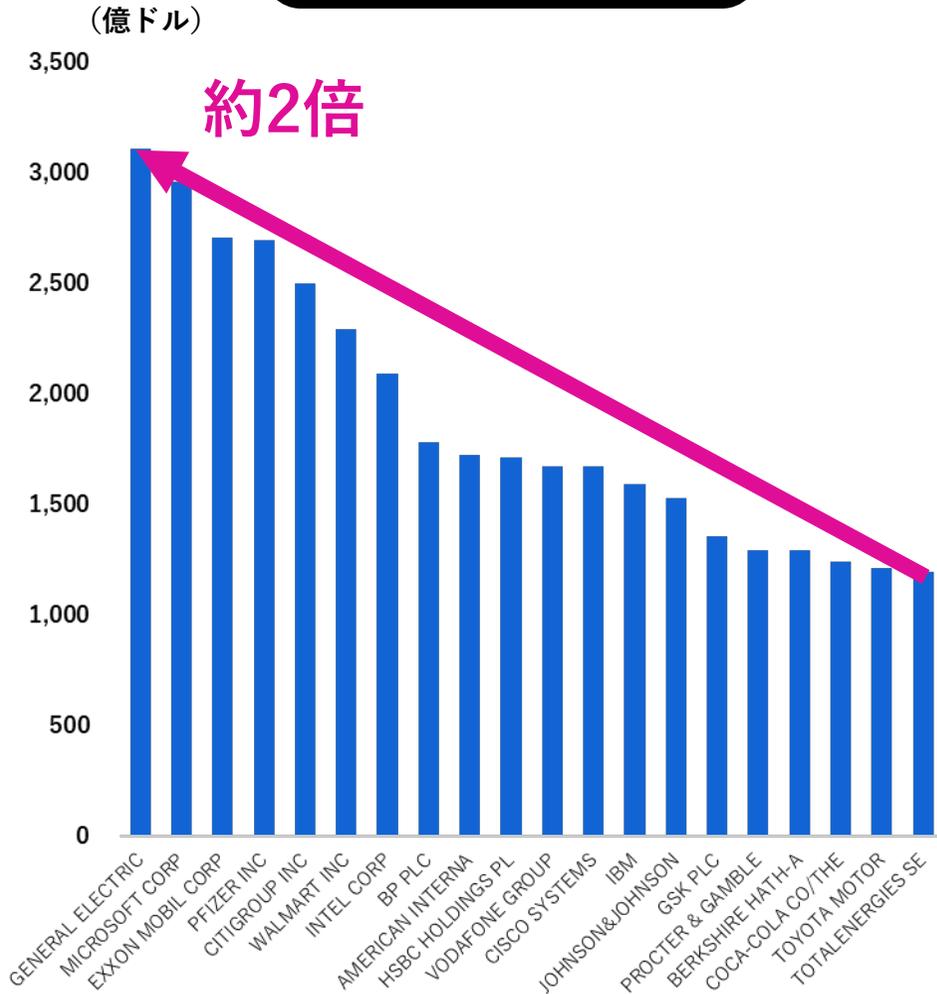
2023年12月末時点



(出所) ブルームバーグより大和アセットマネジメント作成

世界時価総額トップ20企業の推移

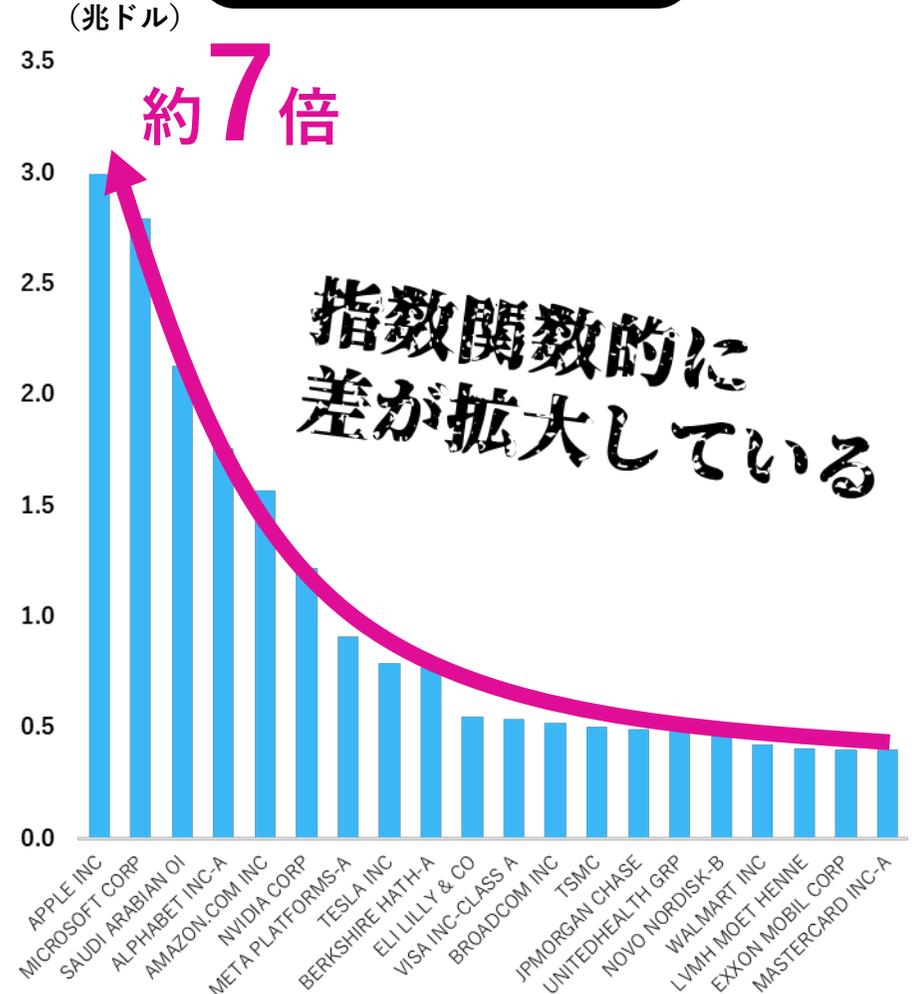
2003年12月末時点



20年後



2023年12月末時点

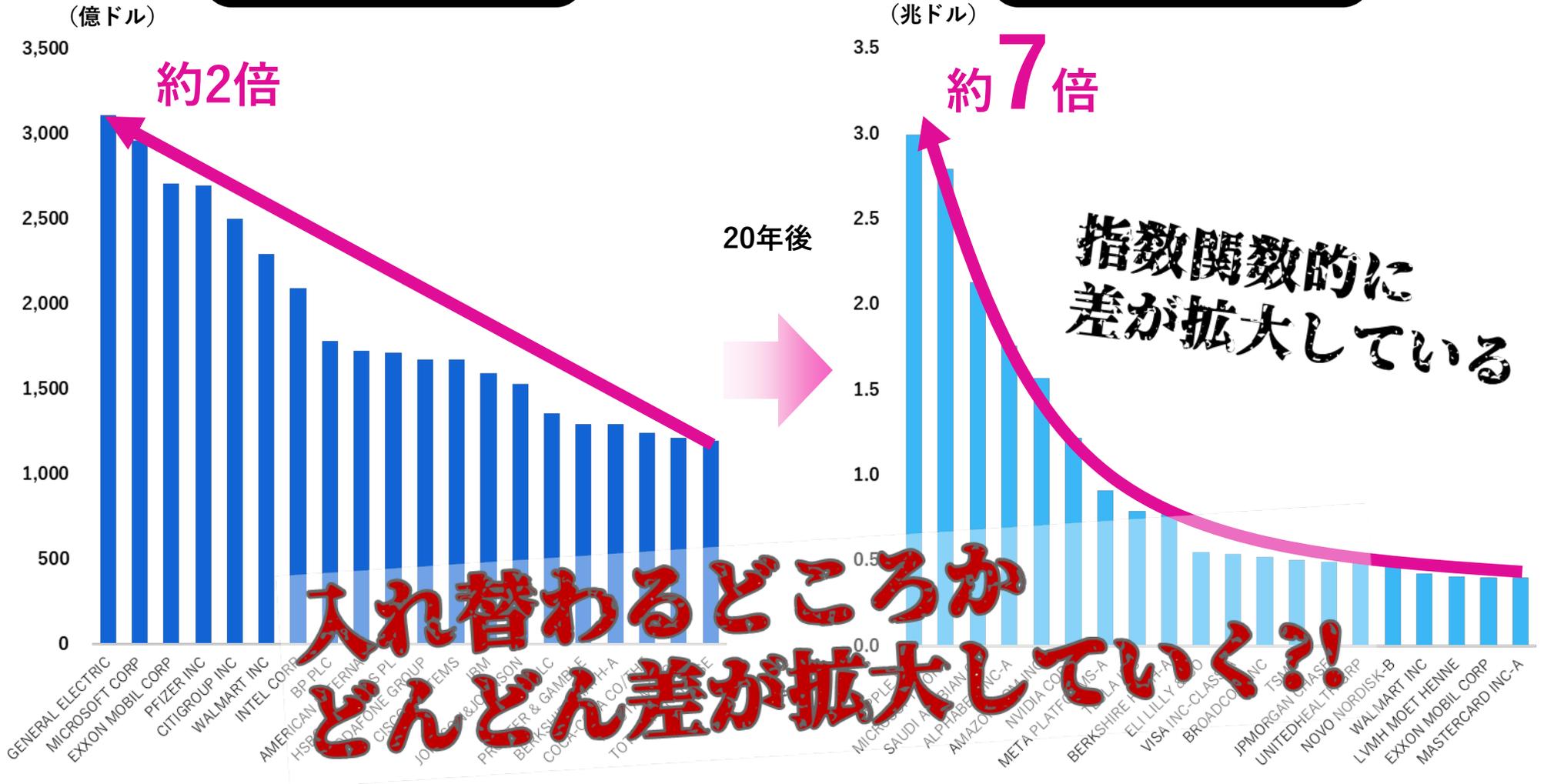


(出所) ブルームバーグより大和アセットマネジメント作成

世界時価総額トップ20企業の推移

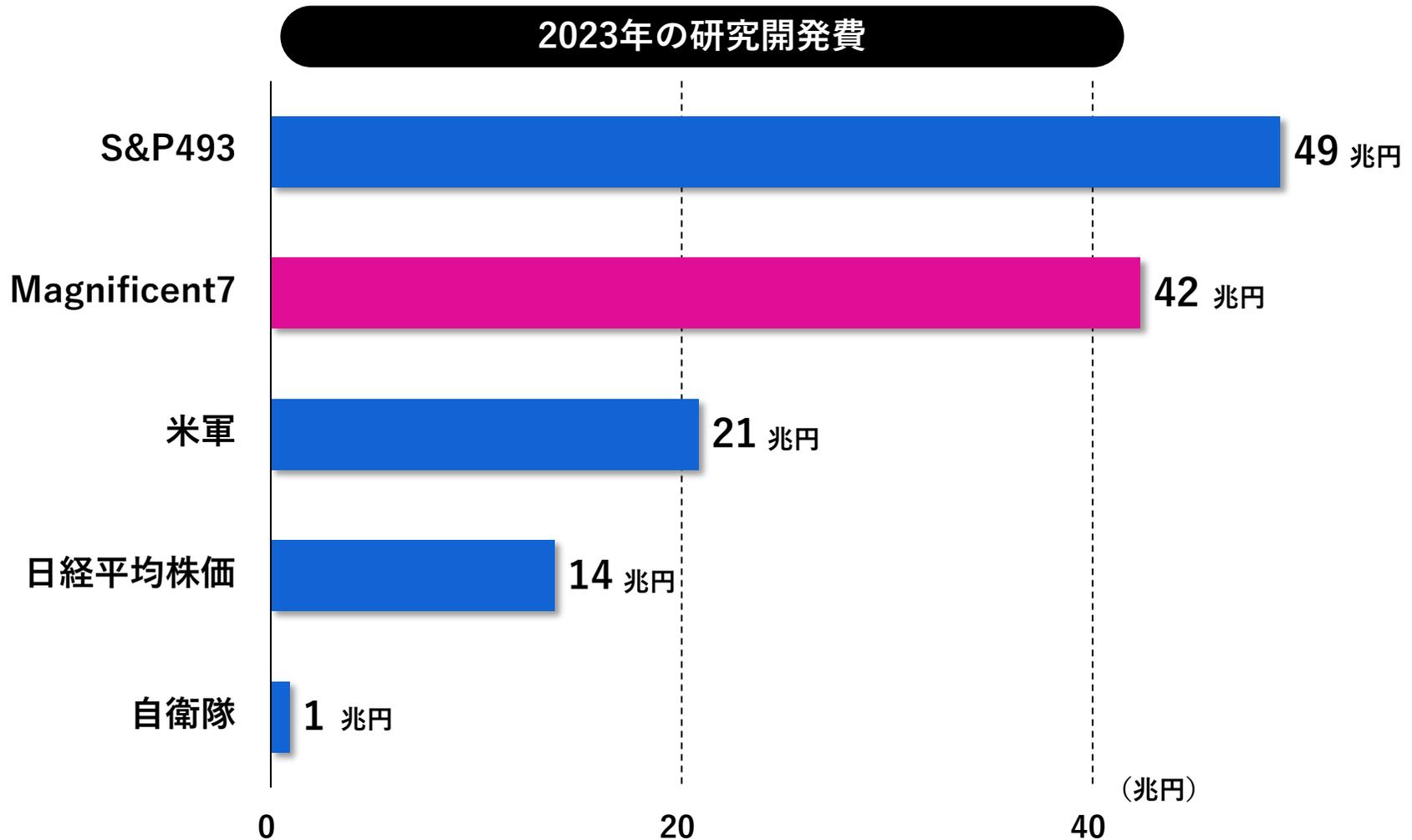
2003年12月末時点

2023年12月末時点



(出所) ブルームバーグより大和アセットマネジメント作成

研究開発費は米軍の2倍？

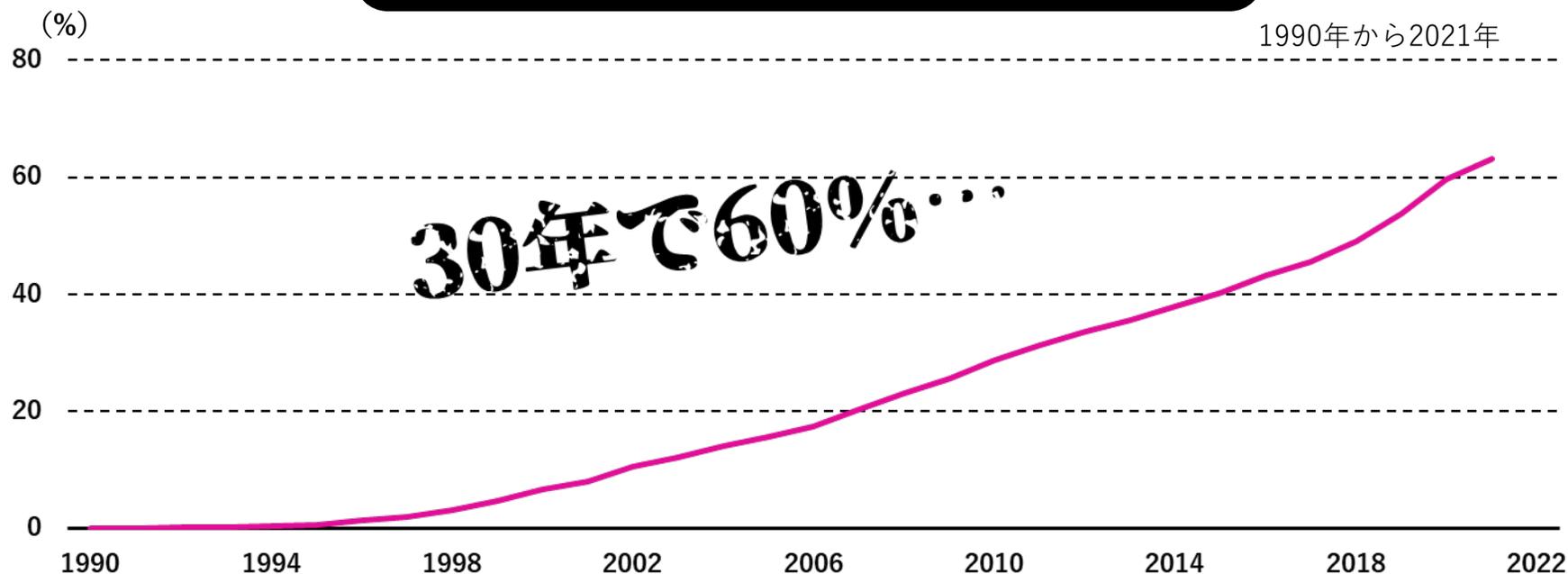


※S&P493はS&P500からMagnificent7を除いて算出 ※2023年9月末の為替レートで換算、数値は小数点以下四捨五入
※S&P493、Magnificent7は2023年9月までの直近12か月、米軍は2023年度予算、日本は2022年度、自衛隊は2023年度予算

(出所) 米国防総省予算案、防衛省予算案、ブルームバーグより大和アセットマネジメント作成

生成AIが世界へ普及するには？

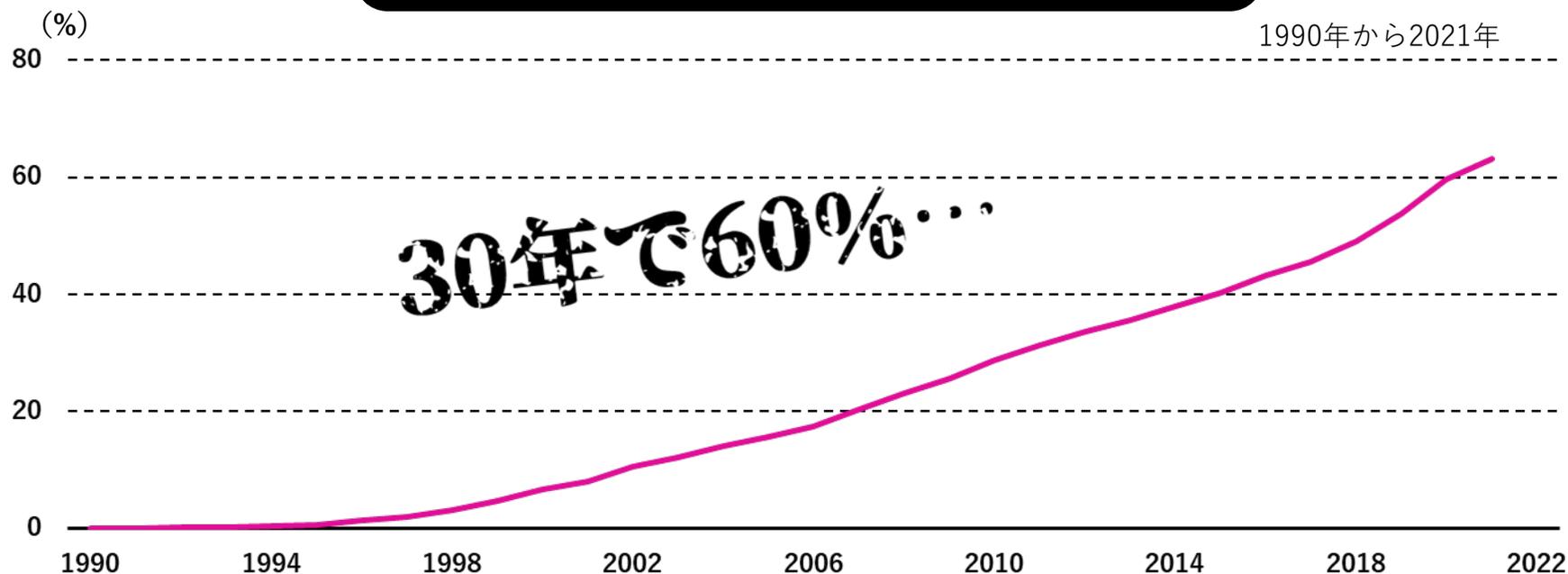
世界における個人のインターネット普及率



(出所) 世界銀行より大和アセットマネジメント作成

生成AIが世界へ普及するには？

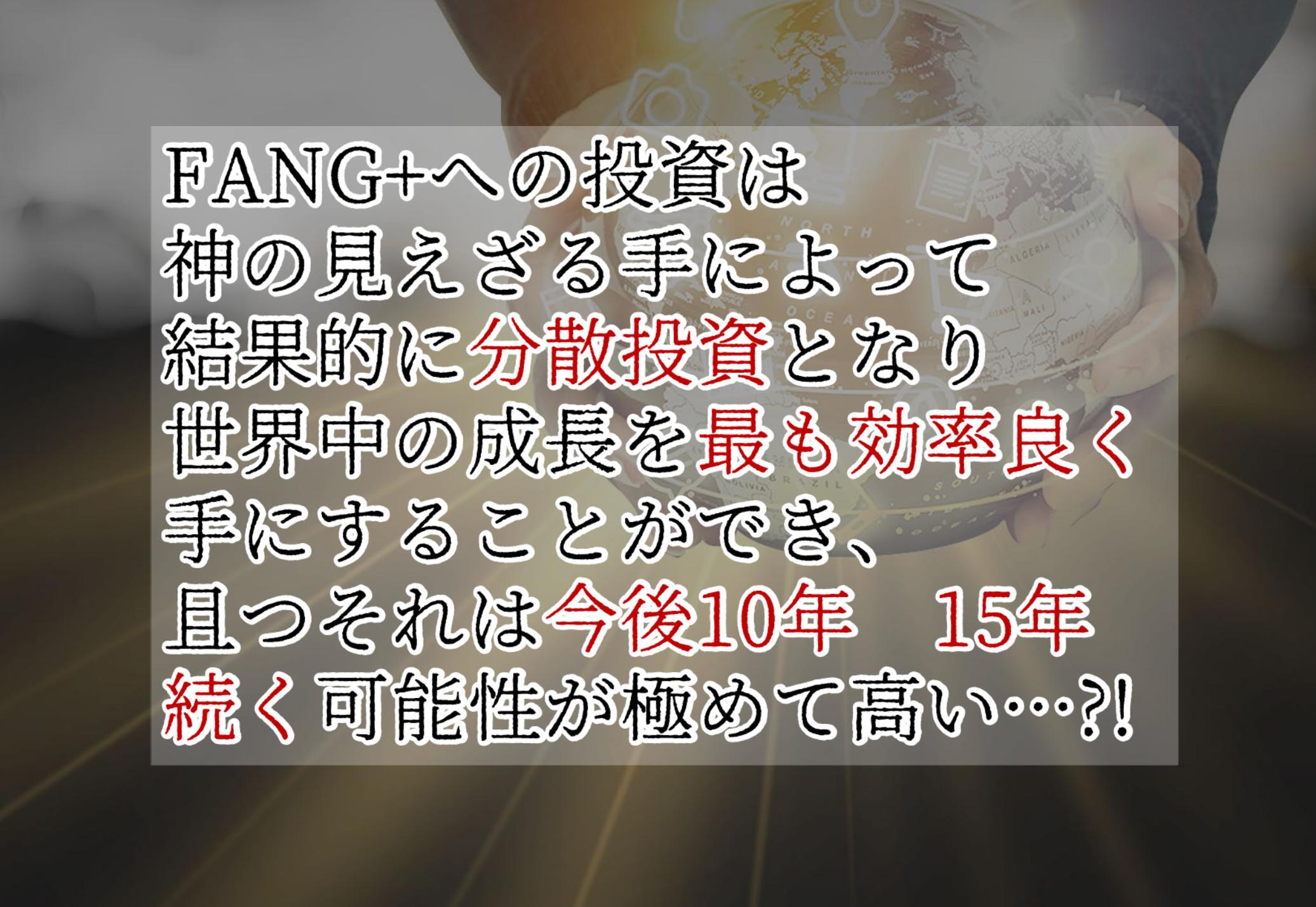
世界における個人のインターネット普及率



(出所) 世界銀行より大和アセットマネジメント作成

世界の生成AIの普及も
クラウド、PC、スマホ、その他デバイス
企業の様々なシステム
自動車、飛行機、鉄道、生活家電など
隅々まで行き渡るのに10年以上の歳月を
必要とすると思われる

生成AIに深く関係する
FANG+銘柄は
その間強い需要に
晒されることになる
少なくとも10~15年
その牙城は揺るがないと思われる



FANG+への投資は
神の見えざる手によって
結果的に**分散投資**となり
世界中の成長を**最も効率良く**
手にすることができ、
且つそれは**今後10年 15年**
続く可能性が極めて高い…?!



風丸レバレッジ投資チャンネル



風丸レバレッジ投資チャンネル

@user-rc5p7v4j - チャンネル登録者数 6.45万人・170本の動画

【初心者、中級者向け】レバレッジ投資術、ETFを使用した資産運用を紹介しております。

チャンネルをカスタマイズ

動画を管理

ホーム 動画 ライブ 再生リスト コミュニティ



絶対調！資産運用+トラリピ！

10,956 回視聴・2か月前

～無難の「波」を利益に換えよう～
FX自動売買「トラリピ」L1開閉後はこちら！
マナースクエアドのタイプアップ企画で特典動画も3本プレゼント！
【新作】「トラリピ」Vサインデックス投資
【PR】 <https://www.toripicorp.net/ai/nk7AC+0117...>

詳細

おすすめ



FANG+超え!? NISAの暗殺者！ザ・ニンジャ！
6.8万回視聴・2週間前

FANG+が爆上げ! 決算の雑談！
2.3万回視聴・5日前

風丸LIVE！～セミナーのご案内・バレンチナ・雑談・質疑～
1.6万回視聴・4か月前に配信済み

時計のご話します！
1.7万回視聴・4か月前

動画 ▶ すべて再生



FANG+2.0最強指数をつかむぞ！
2.8万回視聴・5日前

FANG+が爆上げ! 決算の雑談！
2.3万回視聴・5日前

FANG+超え!? NISAの暗殺者！ザ・ニンジャ！
6.8万回視聴・2週間前

レバナスの半分の値と対面！
1.2万回視聴・2週間前

NISAはFANG+一択で良い！
11万回視聴・1か月前

2023年トラリピ26万利確！運用成績報告！
6114回視聴・1か月前

FANG+関連 ▶ すべて再生



NISAはFANG+一択で良い！
風丸レバレッジ投資チャンネル
11万回視聴・1か月前

投機の大魔王降臨！レバレッジFANG+！
風丸レバレッジ投資チャンネル
6.4万回視聴・2か月前

2244 (グローバルX US テック・ワ・トップ20 ETF) vs...
風丸レバレッジ投資チャンネル
6.1万回視聴・2か月前

FANG+を個別株で換えるかどうか？
風丸レバレッジ投資チャンネル
2.2万回視聴・2か月前

FANG+が初めてNISAの対象へ！25年の奇跡！
風丸レバレッジ投資チャンネル
11万回視聴・2か月前

FANG+デメリットの考察！
風丸レバレッジ投資チャンネル
8万回視聴・6か月前

FX自動売買関連 ▶ すべて再生

FANG+のことについて
今日は3分の1も
話せていないので
「風丸レバレッジ投資チャンネル」
を是非ご覧ください！

FANG+の魅力を
たっぷりと語っています！

きっとあなたもFANG+を
買いたくなる(*´ω`*)

投資リスク

iFreeNEXT FANG+インデックスについて

基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。**

基準価額の主な変動要因については次のとおりです。

●株価の変動（価格変動リスク、信用リスク）●集中投資のリスク●為替変動リスク●カントリー・リスク●その他（解約申込みに伴うリスク等）

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要性が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。

リスクの管理体制

- 委託会社では、取締役会が決定した運用リスク管理に関する基本方針に基づき、運用本部から独立した部署および会議体が直接的または間接的に運用本部へのモニタリング・監視を通し、運用リスクの管理を行ないます。
- 委託会社では、流動性リスク管理に関する規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリングなどを実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証などを行ないます。
- 取締役会等は、流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢について、監督します。

※くわしくはファンドの「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの費用

☑ お客さまにご負担いただく費用について (消費税率10%の場合)

直接的にご負担いただく費用	
購入時手数料	販売会社が別に定める率 ※徴収している販売会社はありません。
信託財産留保額	ありません。
信託財産で間接的にご負担いただく費用	
運用管理費用 (信託報酬)	年率 0.7755% (税抜 0.705%)
その他の費用・ 手数料	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

※「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場投資信託証券は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

※信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込みには制限があります。

※くわしくはファンドの「投資信託説明書 (交付目論見書)」をご覧ください。

指数について

日本語訳は参考として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、英語版と日本語訳に矛盾・齟齬等がある場合は、英語版が優先されます。出所 ICE Data Indices, LLC (以下「ICEデータ」) "ICE" は ICEデータまたはその関連会社のサービス/トレードマークです。これらの登録商標について、当ファンドおよび当ファンドのマザーファンド (以下「ファンド」) において大和アセットマネジメント株式会社がNYSE FANG+®指数 (配当込み) (以下「指数」) を利用するライセンスが付与されています。大和アセットマネジメント株式会社およびファンドはいずれも、ICEデータ、その関連会社またはその第三者供給元によって、スポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではありません。ICEデータおよびその供給元は、証券投資全般、特にファンドへの投資の妥当性について、または指数が一般的な株式市場のパフォーマンスを追従することについて、いかなる表明保証を行うものではありません。ICEデータと大和アセット マネジメント株式会社の関係性は、特定の商標、商号と、指数またはその構成要素のライセンス供与です。指数は、大和アセットマネジメント株式会社、ファンド、受益者に関係なく、ICEデータによって決定、構成、計算されます。ICEデータは、指数の決定、構成、計算において、大和アセットマネジメント 株式会社または受益者のニーズを考慮する義務を負いません。ICEデータは、ファンドの発行時期、価格、数量の決定、またはファンドの価格設定、販売、購入または償還に使用される計算式の決定に関与しておらず、その責任を負いません。特定のカスタム指数計算サービスを除き、ICEデータが 提供するすべての情報は一般的な性質のものであり、大和アセットマネジメント株式会社またはその他の個人、団体、または個人のグループのニーズ に合わせて調整されたものではありません。ICEデータは、ファンドの管理、マーケティング、または取引に関連する義務または責任を負いません。ICEデータは投資顧問会社ではありません。指数に特定の証券を含めることは、ICEデータがそのような証券の購入、売却、保有を推奨するものではなく、投資アドバイスとみなされるものでもありません。ICEデータおよびその供給元は、指数、指数値およびそれに含まれる、関連するまたはそこから得られる情報 (「インデックスデータ」) を含む、特定の 目的または用途に対する商品性または適合性の保証を含め、明示的及びまたは黙示的なすべての保証及び表明を否認します。ICEデータおよびその 供給元は、指数および指数値の妥当性、正確性、適時性または完全性に関して、いかなる損害または責任も負わないものとし、これらは「現状のまま」 提供され、使用者は自己の責任で使用するものとします。

Source ICE Data Indices, LLC ("ICE Data"), is used with permission. ICE® is a service/trademark of ICE Data Indices, LLC or its affiliates. "NYSE®" and "NYSE FANG+®" are registered trademarks of NYSE Group, Inc., an affiliate of ICE Data and are used by ICE Data with permission and under a license. These trademarks have been licensed, along with the NYSE FANG+® Index (NTR) ("Index") for use by Daiwa Asset Management Co. Ltd. in connection with the Products, iFreeNEXT FANG+ Index and FANG+ Index Mother Fund (the "Products"). Neither the Daiwa Asset Management Co. Ltd., nor the Products, as applicable, is sponsored, endorsed, sold or promoted by ICE Data Indices, LLC, its affiliates or its Third Party Suppliers ("ICE Data and its Suppliers"). ICE Data and its Suppliers make no representations or warranties regarding the advisability of investing in securities generally, in the Products particularly, the ability of the Indices to track general stock market performance. ICE Data's only relationship to Daiwa Asset Management Co. Ltd. is the licensing of certain trademarks and trade names and the Indices or components thereof. The Indices are determined, composed and calculated by ICE Data without regard to Daiwa Asset Management Co. Ltd. or the Products or its holders. ICE Data has no obligation to take the needs of Daiwa Asset Management Co. Ltd. or the holders of the Products into consideration in determining, composing or calculating the Indices. ICE Data is not responsible for and has not participated in the determination of the timing of, prices of, or quantities of the Products to be issued or in the determination or calculation of the equation by which the Products are to be priced, sold, purchased, or redeemed. Except for certain custom index calculation services, all information provided by ICE Data is general in nature and not tailored to the needs of Daiwa Asset Management Co. Ltd. or any other person, entity or group of persons. ICE Data has no obligation or liability in connection with the administration, marketing, or trading of the Products. ICE Data is not an investment advisor. Inclusion of a security within an index is not a recommendation by ICE Data to buy, sell, or hold such security, nor is it considered to be investment advice. ICE DATA AND ITS SUPPLIERS DISCLAIM ANY AND ALL WARRANTIES AND REPRESENTATIONS, EXPRESS AND/OR IMPLIED, INCLUDING ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE OR USE, INCLUDING THE INDICES, INDEX DATA AND ANY INFORMATION INCLUDED IN, RELATED TO, OR DERIVED THEREFROM ("INDEX DATA"). ICE DATA AND ITS SUPPLIERS SHALL NOT BE SUBJECT TO ANY DAMAGES OR LIABILITY WITH RESPECT TO THE ADEQUACY, ACCURACY, TIMELINESS OR COMPLETENESS OF THE INDICES AND THE INDEX DATA, WHICH ARE PROVIDED ON AN "AS IS" BASIS AND YOUR USE IS AT YOUR OWN RISK.

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、大和アセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。
- 投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料作成時点の情報に基づき作成しており、制度の内容は今後変更される場合があります。
- 当資料に掲載の情報は、すべて出演者の個人的見解であり、大和アセットマネジメントの見解を示すものではありません。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。
- 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

設定・運用は…

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

〈委託会社〉

商号等 大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

SBI証券からのご留意事項

- 本セミナーでは、セミナーでご紹介する商品等の勧誘を行うことがあります。SBI証券は、セミナー及び資料等の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、保証するものではありません。また、過去の実績や予想等は、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。商品ご購入の最終決定は、商品の内容、リスク及び費用等を十分ご理解いただきましたうえで、お客様ご自身の判断と責任で行っていただきますようお願いいたします。
- SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。
- また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。

SBI証券

〈販売会社〉

商号等 株式会社SBI証券
金融商品取引業者
商品先物取引業者
関東財務局長(金商)第44号

加入協会 日本証券業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会
一般社団法人日本STO協会
日本商品先物取引協会